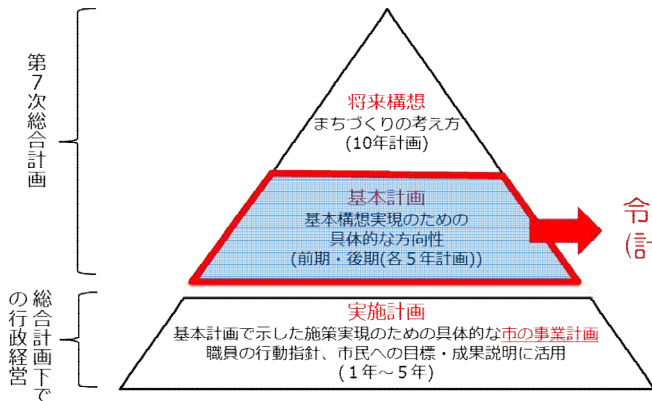


# 令和 7 年度当初予算(案) 事業等説明資料

一般会計	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
特別会計	・ 公営企業会計	・・・・・・・・・・・・・・・・ P47

京都府 宮津市

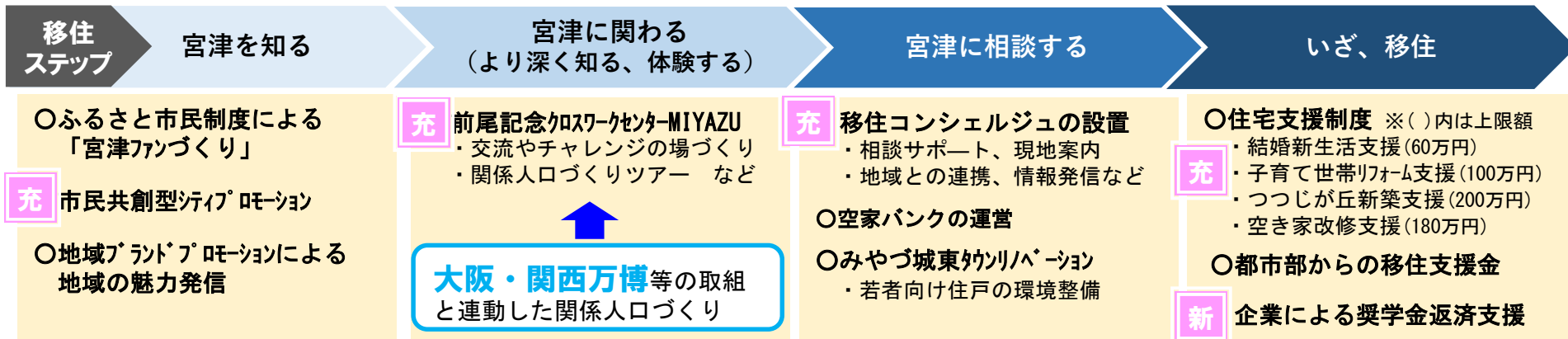
事業名	『第7次宮津市総合計画』後期基本計画の策定 (「橋をつなごう」総合計画等推進事業)	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>R3.5:第7次宮津市総合計画策定</li> <li>◆計画の位置付け 本市の目指すべき将来像の実現に向け、長期的な展望により総合的かつ計画的なまちづくりのあり方を示す最上位の指針とする。</li> <li>◆計画の構成 「将来構想」と「基本計画」の2層構成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「将来構想」計画期間：令和3年度～令和12年度（10年間） 本市が目指す将来像を実現するためのまちづくりの基本的な方向性を示す。</li> <li>・「基本計画」計画期間：（前期）令和3年度～令和7年度（5年間） （後期）令和8年度～令和12年度（5年間）※今般策定 将来構想を実現するために必要となる具体の方策を施策分野ごとに示す。</li> </ul> </li> </ul>		1,500				1,500	0
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			498	繰入	まちづくり基金繰入金			1,500
			(参考)前々年度決算額					
目的・目標	第7次宮津市総合計画前期計画が、令和7年度末に満了する中で、基本構想に掲げる将来像の実現に向けて、まちづくりを総合的・計画的に推進するために必要となる施策を分野ごとに示す後期基本計画（期間：R8～R12年度）を策定するもの。	総計重要プロジェクト	—					
		テーマ別戦略	—					
事業概要	<b>■後期基本計画の策定 1,500千円</b> ○宮津市総合計画等有識者会議（4回）の開催 ○数値目標設定のための協議・調整 ○関係団体との施策協議 ○ワークショップの開催 ○市民と市長のふれあい座談会 ○住民説明会、パブリックコメント <b>【策定にあたってのポイント】</b> ○今後5年間における数値目標の設定、具体の方策等の策定など <b>【第7次宮津市総合計画の構成】</b>	施策分野	—					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		期待される効果等	・市民、事業者等との意見交換等を通じて、令和8年度以降の施策分野ごとの具体の方策を策定することで、将来像の実現に向けた市民、事業者等の意識醸成及びまちづくり行動を促進する。					
		担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		45-1664	1		



令和7年度中に、後期計画を策定  
(計画期間：R8年度～R12年度)



## 「関係人口づくり」から「移住定住」へ、移住のステップを踏まえた充実したサポートの実施



### 新規・充実事業等について

#### ふるさと市民制度「MIYAZUTTO!」等【1,080千円】

- 関係人口との接点をつくり、交流やつながりを深めることで「宮津ファンづくり」を推進



#### 市民共創型シティプロモーション【1,300千円】

- 市民参加型のワークショップ等により、「宮津への移住」に向けた「ブランドイメージづくり等」を実施

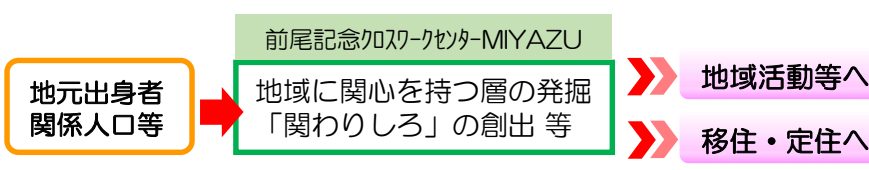


移住に向けた宮津のイメージ等を構築

- 宮津の暮らしをテーマにした「写真・動画コンテスト」を実施し、口コミでまちの魅力が伝播される取組を推進

#### 前尾記念クロスワークセンター-MIYAZUの充実【27,000千円】

- 関係人口づくりから移住促進に向けた取組を一体的に行うため前尾記念クロスワークセンター-MIYAZUに移住コンシェルジュを統合



#### 子育て世帯リフォーム支援の充実【8,000千円】

- 子育て世帯へのリフォーム支援を拡充し、要件を緩和するとともに、市民も対象に【2年間限定の支援制度】

#### 企業の奨学金返済支援制度創設への支援【1,000千円】

- 企業の人材確保及び企業と連携した移住定住を進めるため、従業員への奨学金返済支援制度の創設に向けた支援を実施



令和7年3月定例会

令和7年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	前尾記念クロスワークセンターMIYAZUを中心とした「新たな人の流れの創出」(関係人口・魅力・移住創出事業)	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	R4.4 : 「宮津市と株式会社FoundingBaseの包括連携に関する協定」を締結(関係人口創出、地域の魅力発信、移住定住促進などを連携し協力して取り組むもの) R4.5 : 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの開設 R5.4 : 都市部からの移住創出に向けた移住支援金の創設 R6.12 : ふるさと市民制度「MIYAZUTTO!」スタート		30,080	9,240	6,916			13,924	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
目的・目標	「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」を核として、関係人口づくりから移住定住に至るまでのフローを一本化するとともに、本市の魅力を発信することにより、関係人口から移住定住に向けた新たな人の流れを創出し、「選ばれるまち」づくりを推進するもの。		32,712	国	新しい地方経済・生活環境創生交付金		9,240		
			(参考)前々年度決算額	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金		666		
			30,975	府	地方創生移住支援事業費補助金		1,500		
				府	きょうと地域連携交付金		4,750		
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
事業概要	<p>■ 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUを拠点にした関係人口創出等 27,000千円</p> <p>○ 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの運営</p> <p>都市と地域の「交流の場づくり」や「関わりしるの創出」などを展開し、関係人口づくりを実施するとともに、移住定住に向けた取組を推進するもの</p> <p><b>【R7の特記事項】</b></p> <p>クロスワークセンターの運營業務に、「移住コンシェルジュ業務」と「情報発信業務」を統合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関係人口づくりから移住定住に向けた業務」を一体化</li> </ul> <p><b>施設運営における取組イメージ</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">機能</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">① 関係人口づくり … 地域に関心を持つ層を増やし、<b>地域の維持や活性化につなげる</b>取組み</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">② 移住定住の取組 … 関係人口を<b>移住定住につなげる</b>取組み</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>外部</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元出身者</li> <li>○ 本市に関心を持つ層</li> <li>○ 二地域居住者 など</li> </ul> </div> <div style="width: 40%; text-align: center;"> <p>前尾記念クロスワークセンターMIYAZU</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">取組</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域に関心を持つ層の発掘</li> <li>○ 「関わりしる」の創出 など</li> </ul> <p>関係人口づくり・移住定住へ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動や活性化等の取組へ</li> </ul> </div> </div> <p>移住・定住へ</p> </div>		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
			施策分野	関係人口創出・拡大 シティプロモーション 移住・定住促進					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R3	第2期宮津市空家空地対策計画				R4~R13	
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化</li> <li>・都市部への情報発信強化等による移住者の呼び込み</li> </ul> <p><b>【第7次宮津市総合計画数値目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元 44人 → R7 延べ300人</li> <li>・市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数 R元 - → R7 30万PV</li> <li>・転出超過数の減少 R元 △63人/年 → R7 0人/年</li> <li>・移住者(市の施策誘導により移住した人数) R元 32人/年 → R7 40人/年</li> </ul>					
			担当部署	企画財政部 移住定住・魅力発信課 移住定住促進係・魅力発信係	45-1689 45-1609				8



事業名	定住・空き家対策推進事業	充実	予算額	財 源 内 訳																		
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源														
背景・経緯	・H23.9：みやづUIターンサポートセンターを設置 ・H27.4：京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設置（移住定住部会で連携） ・H29.8：宮津市空家空地対策協議会を設置 ※京都府の移住促進特別区域の指定済地区：宮津・上宮津・栗田・吉津・府中・世屋・養老・日ヶ谷(未指定:由良・日置)		30,217	6,580	7,220		9,500	6,917														
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																		
目的・目標	移住希望者等の住環境確保への支援を充実させるとともに、京都府の移住に関する条例に基づく移住促進特別区域の市全域指定を目指し、移住者の受入体制の強化など、地域と一体となった移住定住支援を推進する。 また、第2期空家空地対策計画に掲げる「地域とともに空家空地を活かす」を基本方針に、地域や関係機関が連携し、総合的な空家等対策を推進する。		52,845	国	新しい地方経済・生活環境創生交付金	4,380	国	地域少子化対策重点推進交付金	2,200													
			(参考)前々年度決算額	府	結婚・子育て応援住宅総合支援事業費補助金	600	府	移住促進事業費補助金	5,100													
			13,389	府	きょうと地域連携交付金	1,520	府	子ども若者未来応援基金繰入金	9,500													
				繰入																		
事業概要	<b>■結婚・子育て世帯への住まい確保支援 13,300千円</b> 若者定住に向けたすまい確保に向けた支援を実施し、結婚や子育てしやすい環境づくりを進めるもの ○ 結婚世帯へのすまい確保支援 3,300千円 ○ 子育て世帯へのすまいリフォーム支援 8,000千円【充実】 (充実内容) 活用要件を緩和(多子世帯、三世帯同居・近居要件を撤廃) 市民の市内転居も対象に追加 ※ 令和7年度～8年度の2カ年限定の支援策として実施 ○ 子育て世帯のつつじが丘団地新築支援 2,000千円  <b>■空家活用モデル事業の発信・啓発 100千円</b> 令和6年度に構築した空家活用モデル事業の普及・啓発  <b>■定住支援空家等改修補助 10,350千円</b> 市内への定住を目的に購入または賃貸した空家等の改修または家財撤去を支援 <table border="1" style="margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">移住特区 (府1/2・市1/2)</th> <th colspan="2">移住特区外 (市制度)</th> </tr> <tr> <th>空家改修</th> <th>家財撤去</th> <th>空家改修</th> <th>家財撤去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助率</td> <td colspan="2">10/10</td> <td colspan="2">1/2</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>1,800千円 (上限)</td> <td>100千円 (上限)</td> <td>1,000千円 (上限)</td> <td>50千円 (上限)</td> </tr> </tbody> </table> <b>■地域とともに取り組む移住・定住人口の増加に向けた対応 800千円</b> 移住促進特別区域が取り組む移住者受入体制整備への支援  <b>■空家空地対策の実施や空家バンクの運営等 5,667千円</b>	区分	移住特区 (府1/2・市1/2)		移住特区外 (市制度)		空家改修	家財撤去	空家改修	家財撤去	補助率	10/10		1/2		補助金額	1,800千円 (上限)	100千円 (上限)	1,000千円 (上限)	50千円 (上限)	総計重要プロジェクト 若者が住みたいまちづくりプロジェクト  テーマ別戦略 住みたい、住み続けたいまちづくり  施策分野 移住・定住促進  <b>【宮津市総合計画以外の計画】</b> R3 第2期宮津市空家空地対策計画 R4～R13  期待される効果等 ・住環境の確保支援による移住・定住者の増加 ・地域(自治会、地域会議)等との連携による空家等の掘り起こしと確保 ・京都府の移住促進特別区域における地域主体の移住受入取組の推進  <b>【総合計画テーマ別数値目標】</b> ・人口 R元 15,202人 → R7 15,450人 ・宮津に住み続けたい人の割合 R元 61% → R7 80% ・移住者(市の施策誘導により移住した人数) R元 32人/年 → R7 40人/年	担当部署 企画財政部 移住定住・魅力発信課 移住定住促進係  45-1689  9・10・28
			区分	移住特区 (府1/2・市1/2)		移住特区外 (市制度)																
		空家改修		家財撤去	空家改修	家財撤去																
		補助率	10/10		1/2																	
		補助金額	1,800千円 (上限)	100千円 (上限)	1,000千円 (上限)	50千円 (上限)																

# 「まちじゅうまるごとLET`s子育て！」事業の展開(子育て環境・教育環境の充実)

～「妊娠・出産から高校卒業までの切れ目ない支援」と「多様な人々の繋がりによる子育て機運の醸成」の強力推進～



保育(預かり)  
・教育の充実



にっこりあでの託児や民間保育園等での一時預かりサービス

全就学前施設における紙おむつ等無償提供サービス



幼稚園～中学校までの完全給食



**(新) 保育サービス充実に向けた行動指針策定等**

中学生以上を対象にした姉妹友好都市派遣



**(新) 子どもの学び応援プロジェクト**

経済的負担  
の軽減

妊婦のための  
支援給付  
妊娠に5万円と妊娠  
している子どもの  
人数×5万円

低廉な保育料  
・国基準の約53%で設定  
・市独自の第3子以降100%減免

充実した就学支援制度  
・認定収入基準を国基準×1.5倍  
漢字・英語検定料全額助成

中学卒業・  
夢未来応  
援給付金  
(5万円)

未来を担う人財応援奨学金  
・最大60万円/年、Uターンの  
場合返済免除

**(継) 給食費保護者負担軽減対策**

**(新) ひとり親世帯等を対象としたファミサポ利用助成**

中学生までの医療費助成(自己負担額 1医療機関200円/月)

**(充) 高校生まで対象拡大**



安心して産  
み育てられ  
る環境づくり

発育・発達に係る緊密な伴走型支援(担当保健師等による長期フォロー)

こども家庭センターの設置・運営(全ての妊産婦・子育て世帯・こどもに対する一体的相談支援)

市独自の充実した不妊治療費助成  
・一般治療3万円まで全額助成 等

**(新) ヤングケアラー支援策検討に向けた実態調査**

**(新) 医療MaaSによる妊産婦健診**



**(充) 小学校に拡大** ← 校内フリースクール



多様な居場  
所づくり



**(新) 民間との連携による「みやづ子どもサポートセンター」設置・運営**

多様な人々  
の繋がりによ  
る子育て機  
運の醸成

**(新) あらゆる世代の交流促進プロジェクト**

- ・LET`s子育てフェスタ(仮称)の開催
- ・子育て機運の醸成に向けた「シンボル&キックオフ」イベント
- ・子育て用品リユース事業
- ・親子と事業者とのふれあい体験教室
- ・子育てオープンチャット開設
- ・図書館の児童図書充実
- ・みやづ城東タウンの整備 ほか

**(新) 地域の子育て応援プロジェクト**


- ・子育てサポーター育成事業
- ・ファミリー・サポート・センター「まかせて会員」拡大に向けた取組
- ・子育て応援事業所拡大に向けた支援強化
- ・中高生を対象とした放課後探究スクール
- ・子育て世代の職場体験



Uターンを含めた移住・定住の促進  
「選ばれるまちみやづ」の実現

事業名	保育サービスの向上に向けて (子ども・子育て支援推進事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.4：保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領の改定施行</li> <li>・R03～：福祉・教育総合プラザ内に保育コーディネーターを配置</li> <li>・R04～：保育・教育の質向上のための研修会、就学前施設長による保育サービス拡充・適正化研究会の開催”</li> </ul>		2,800		1,300		1,400	100
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 ・ 目 標	<p>本市が子育て世帯に「選ばれるまち」となるための取組として、就学前施設の児童保護者を対象に、魅力的かつ経済的負担の軽減につながる保育サービスを提供する。 また、今後の保育サービス充実に向け、最重要かつ喫緊の課題である「保育人材の確保・育成」について、今後の行動指針を定める。</p>		3,400		府 ぎょうと地域連携交付金 繰入		子ども若者未来応援基金繰入金	1,300 1,400
			(参考)前々年度決算額					
事 業 概 要	<p>■就学前施設における紙おむつ等の無償提供 2,704千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙おむつ、おしりふきの無償提供</li> </ul> </li> <li>○対象施設                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全就学前施設（保育所(園)、こども園、幼稚園</li> <li>※R6.2.1現在入所児童数 316人（うち、利用申込者316人、使用中142人）</li> </ul> </li> <li>○特 徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の経費負担なし（無料）</li> <li>・対象児童の年齢を制限せず、紙おむつが不要となるまで提供</li> </ul> </li> </ul> <p>■「保育サービス充実に向けた行動指針」の策定〔新規〕 96千円</p> <p>就学前施設長による「保育サービス拡充・適正化研究会」を母体として、「保育人材の確保・育成」について、各施設の実態把握や課題の洗い出しを行った上で、市全体としての実効性のある行動指針とそれに基づく具体策を定める。 また、具体策については、R8以降に順次実施を目指す。</p>		4,556					
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
事 業 概 要	<p>■就学前施設における紙おむつ等の無償提供 2,704千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙おむつ、おしりふきの無償提供</li> </ul> </li> <li>○対象施設                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全就学前施設（保育所(園)、こども園、幼稚園</li> <li>※R6.2.1現在入所児童数 316人（うち、利用申込者316人、使用中142人）</li> </ul> </li> <li>○特 徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の経費負担なし（無料）</li> <li>・対象児童の年齢を制限せず、紙おむつが不要となるまで提供</li> </ul> </li> </ul> <p>■「保育サービス充実に向けた行動指針」の策定〔新規〕 96千円</p> <p>就学前施設長による「保育サービス拡充・適正化研究会」を母体として、「保育人材の確保・育成」について、各施設の実態把握や課題の洗い出しを行った上で、市全体としての実効性のある行動指針とそれに基づく具体策を定める。 また、具体策については、R8以降に順次実施を目指す。</p>		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	子育て支援				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R6	第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R7～R11	
			<p>みんなで育み、みんなが育まれるまち、みやづの実現 ・幼児期の学校教育・保育サービスの充実</p> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・市の子育て環境や支援に対する満足度（普通～満足度が高いと回答した割合） R5 就学前70.0% 小学生65.3%</p>					
			期待される効果等	 				
担当部署	健康福祉部 子ども未来課 子ども福祉係			45-1640		12		



事業名	地域ぐるみでの子育て応援の推進 (地域子育て支援事業)	充実	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背 景 緯	・R2.4:「にっこりあ」において、ファミリー・サポート・センター事業の預かり場所に活用 ・R3.7:子育て家庭を応援するサービスを行っている事業所を「子育て応援事業所」として認定する制度を開始		2,814	91	1,785			938		
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
目 的 標	「選ばれるまち」に向けた更なる子育て環境の充実に向け、ファミリー・サポート・センターの利用に対する助成制度を設け、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、高齢者や事業者等をはじめ、多様な人々の子育てへの参画を促し、まち全体の子育て支援に向けた機運醸成を図る。		266	国	子ども・子育て支援交付金			91		
			(参考)前年度決算額	府	子ども・子育て支援交付金			91		
事 業 要 概	<b>■ファミリー・サポート・センター事業 273千円</b> ひとり親家庭や低所得世帯が援助活動を利用する場合に利用助成を行い、利用促進と経済的支援を図る。		201	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金			1,694		
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
事 業 要 概	<b>■子育てサポーター育成事業 1,341千円</b> ファミリー・サポート・センターまかせて会員を子育てサポーターとして登録し、サポート活動に対して報酬を支払うことにより、多様な人々の参画とファミサポ登録会員の増加を促す。		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
			施策分野	子育て支援						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R6	第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画					R7~R11	
			期待される効果等	みんなで育み、みんなが育まれるまち、みやづの実現 ・地域ぐるみでの子育て支援の推進 ・企業や事業所による子育て支援の機運醸成 ・子育て支援のネットワークづくりの充実 ・子育てと仕事の両立支援						
			担当部署	健康福祉部 子ども未来課 子育て応援係					45-1621	15・23

区分	助成率
ひとり親世帯	50/100
非課税世帯	90/100
生活保護世帯	100/100

円/1時間当たり		報酬額
平日	7~20時	1,000
平日	上記以外	1,200
土・日・祝・年末年始		1,200

- 子育て応援事業所環境整備補助制度の拡充等 1,200千円**  
(子育て親子の輪づくり事業)
- ①従来分【現在】補助率1/2 上限50千円 → 【拡充後】補助率2/3 上限100千円  
対象経費：備品購入費、環境整備（活動拠点の改修等）
  - ②新規分 子育て世帯を対象とした商品開発等への支援 補助率2/3 上限500千円



事業名	充実	予算額	財源内訳				
			国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
<b>事業名</b> 様々な課題や困難を抱える子どもの居場所づくり (こころのまど・ひろば運営事業・校内フリースクール運営事業・みやづ子どもサポートセンター設置事業)	充実	42,946		4,757		29,300	8,889
		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
		—	府	子どもの教育のための総合交付金		4,757	
			繰入	教育基金繰入金		4,700	
		(参考)前々年度決算額	諸	B&G財団助成金		24,600	
	—						
<b>背景・経緯</b> ・H10:教育相談室「こころのまど」を設置 ・H19:適応指導教室「こころのひろば」を中心とした不登校及び不登校傾向にある児童生徒の学校復帰に向けた指導活動 ※宮津市教育支援センター(こころのまど、こころのひろば)として活動 ・H30:B&G財団と日本財団と連携した「子ども第三の居場所」を着手 ・R3.12:「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」閣議決定 ・R5.12:「こどもの居場所づくりに関する指針」の策定(子ども家庭庁) ・R6.2:宮津中学校に校内フリースクールを設置							
<b>目的・目標</b> 不登校及び不登校傾向にある児童生徒の増加に対応するため、個々の状況に応じた学習環境を確保するとともに、日常生活等に様々な課題を抱える小学生及び中学生を対象に、子ども一人ひとりに、専門性を有するスタッフ等の支援を受けながら、基本的な生活習慣を身につけるための生活支援や学習支援等の提供を行う。	総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
	テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
<b>事業概要</b> ■教育支援センター(こころのまど・ひろば)の運営費 8,831千円 ・教育相談室「こころのまど」(教育委員会事務局内) 月～金(9:00～17:00)開設 ・適応指導教室「こころのひろば」(宮津市宇島崎) 月～金(9:00～15:30)開設 ※長期休業中を除く。 ■校内フリースクールの設置及び運営 9,515千円 宮津中学校(R6.2～)及び宮津小学校(R7新設)内に設置し、支援員による学習や生活面のサポートを行う。 ・対象者 学校に行きにくい、又は教室に入りづらい児童生徒 ■みやづ子どもサポートセンターの設置及び運営 24,600千円 社会福祉法人北星会が運営する総合在宅支援天橋園(地域交流ホール)内に、子どもの居場所となるサポートセンターを整備し、運営を行う。 ・運営費(委託料):9,600千円(800千円×12月) ・開設費(備品、環境整備等):15,000千円 ○対象者 ・経済状況や家庭環境に課題を抱える児童生徒、不登校・不登校傾向にある児童生徒、学習上のつまづきや困難を抱える児童生徒 ○提供するサービス ・日常での生活習慣の習得、学習支援、社会体験、経験等の習得、居場所の提供、相談体制の構築 ・週3回 開設時間15:00～20:00 ※開設時間は、児童生徒の利用実態を踏まえ、柔軟に対応する予定。	施策分野	学校教育					
		【宮津市総合計画以外の計画】					
		R元	宮津市子ども・子育て支援事業計画			R2～R6	
		R2	宮津市教育大綱・教育振興基本計画			R3～R7	
	期待される効果等	・多様な児童生徒に対応する支援員を配置することにより、よりきめ細かな学習支援や生活支援が可能となるほか、校内フリースクールの設置により、児童生徒の状況に応じた柔軟な学習環境が確保できる。 ・日常生活等に課題を抱える子どもたちの新たな居場所を確保・提供することで、専門スタッフとの関わりの中で、学習・生活習慣の定着、自己肯定感・人や社会とのかかわる力(非認知能力)や学力(認知能力)を養い、将来の自立に向けた児童生徒を育成					
	担当部署	教育委員会 学校教育課 学校教育係		45-1641	16・17・18		



# 様々な課題や困難を抱える子どもの居場所づくり

## 子どもたちの社会的自立を目指して！

- 引きこもり傾向の児童生徒
- 学校にほとんど行けない
- 学校を休みがち
- 教室に入れない
- 不登校の初期状態
- 居場所を求めている
- すべての児童・生徒
- すべての家庭  
すべての保護者

学びの多様化への対応  
一人一台端末のAIドリル等  
を活用した学習機会の保障

- ・行きたくなる学校づくり
- ・学びたくなる環境づくり
- ・安心できる居場所づくり

個のニーズに応じた  
学びの場の提供

進路実現に向けた  
相談やサポートの推進  
進路指導  
オンライン授業  
オンライン補習 等

### 子どもの居場所



多様な学びの場としての機能も強化

- 子ども未来課  
(こども家庭センター)
- 家庭や学校に居場所がない
  - 入浴等ができず困っている
  - 食事環境の改善
  - 生活困窮
- 養育環境に課題を抱える児童生徒

宮津市教育委員会

事業名	高卒卒業までの医療費助成制度の拡充 (子育て支援医療費助成事業)	充実	予算額	財源内訳																																						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																																		
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H5.10: 子育て医療助成(府)制度開始(以降順次拡充)</li> <li>・H15.6: 市独自の助成制度を実施(医療費の自己負担額月200円(1医療機関当たり))</li> <li>・H19.9: 医療費助成の対象年齢を6歳未満から小学校卒業まで拡充</li> <li>・H22.10: 医療費助成の対象年齢を小学校卒業から中学校卒業まで拡充</li> </ul>		38,759		15,950		2,500	20,309																																		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																																						
目的・目標	乳幼児・児童・生徒の健康保持・増進と経済的支援の強化の観点から、令和7年4月診療分から高校生年代まで医療費の助成を拡充し、子育て世帯の経済的負担の軽減及び子育て環境の充実を図る。		31,015	府	子育て支援医療助成事業費補助金			15,950																																		
			(参考)前々年度決算額	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金			2,500																																		
事業概要	<p><b>■子育て支援医療費助成 38,759千円</b> 自己負担1医療機関200円/月の医療費助成の対象を高校卒業年代まで拡充</p> <p><b>【制度拡充分】</b> 高校生年代(R6.11現在): 367人(H19年4月2日~H22年4月1日生まれ) 医療費(扶助費) 4,800,000円 367人×年間医療費平均13,000円(国保加入者から試算) 審査支払手数料 40,000円</p> <p><b>【現行分】</b> 医療費(扶助費) 31,000,000円 府制度(入院:中学校卒業まで、入院外:小学校卒業まで) 医療費(扶助費) 1,800,000円 市制度(入院外:中学校卒業まで) 審査支払手数料 1,093,800円 受給者証印刷製本費 25,000円</p>		33,878	総計重要プロジェクト 若者が住みたいまちづくりプロジェクト																																						
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり																																						
	<table border="1"> <tr> <th>~R7.3</th> <th>就学前・小学生</th> <th>中学生</th> </tr> <tr> <td>入院外</td> <td>府制度 1医療機関200円/月</td> <td>1医療機関1,500円/月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市制度 なし</td> <td>1医療機関200円/月</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>府制度 1医療機関200円/月</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>市制度 なし</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>R7.4~</th> <th>就学前・小学生</th> <th>中学生</th> <th>高校生世代</th> </tr> <tr> <td>入院外</td> <td>府制度 1医療機関200円/月</td> <td>1医療機関1,500円/月</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市制度 なし</td> <td>1医療機関200円/月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>府制度 1医療機関200円/月</td> <td></td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市制度 なし</td> <td>1医療機関200円/月</td> <td></td> </tr> </table>	~R7.3	就学前・小学生	中学生	入院外	府制度 1医療機関200円/月	1医療機関1,500円/月		市制度 なし	1医療機関200円/月	入院	府制度 1医療機関200円/月			市制度 なし		R7.4~	就学前・小学生	中学生	高校生世代	入院外	府制度 1医療機関200円/月	1医療機関1,500円/月	なし		市制度 なし	1医療機関200円/月		入院	府制度 1医療機関200円/月		なし		市制度 なし	1医療機関200円/月			【宮津市総合計画以外の計画】				
		~R7.3	就学前・小学生	中学生																																						
入院外	府制度 1医療機関200円/月	1医療機関1,500円/月																																								
	市制度 なし	1医療機関200円/月																																								
入院	府制度 1医療機関200円/月																																									
	市制度 なし																																									
R7.4~	就学前・小学生	中学生	高校生世代																																							
入院外	府制度 1医療機関200円/月	1医療機関1,500円/月	なし																																							
	市制度 なし	1医療機関200円/月																																								
入院	府制度 1医療機関200円/月		なし																																							
	市制度 なし	1医療機関200円/月																																								
R6	第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R7~R11																																						
期待される効果等	<p>・子育て世帯を経済的に支援することで、子育て環境の充実を図る。</p> 																																									
担当部署	健康福祉部 子ども未来課 子育て応援係 45-1621 21・102																																									

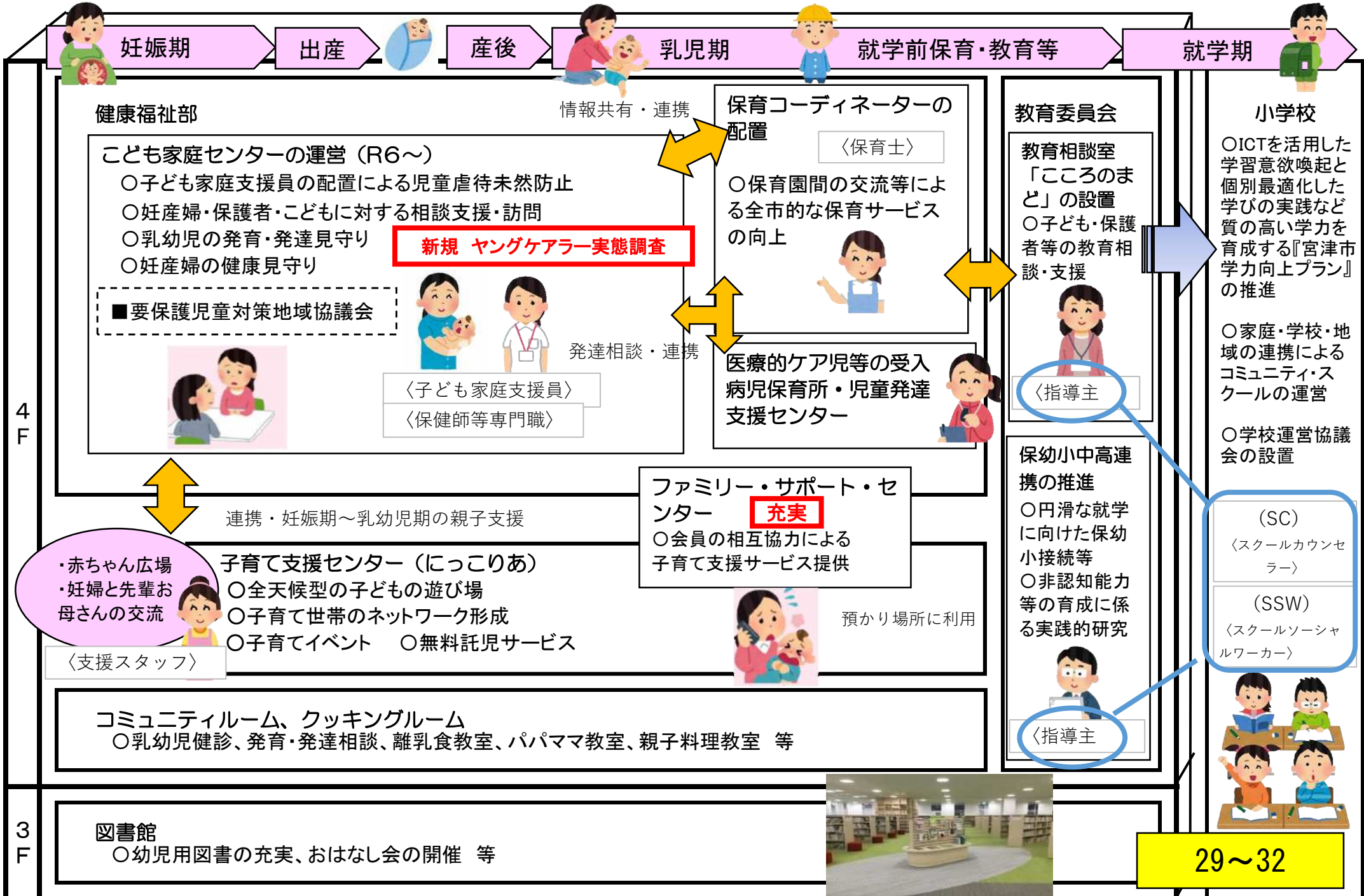


事業名	企業と連携した魅力ある働く場づくり (ふるさと就労支援事業)	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 : 京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会主催で合同就職面接会実施</li> <li>・H29～R3 : 同協議会において合同企業説明会実施</li> <li>・R3.12 : 京都労働局と雇用対策協定の締結</li> </ul>		1,687	183	133			1,371
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			527	国 府	地方創生推進交付金 子育てにやさしいまちづくり推進交付金		183 133	
目 的 ・ 目 標	市と労働局の連携による一体的かつ総合的な雇用対策の取り組み、及び北部7市町の連携による圏域に不足する専門人材を確保するための合同企業説明会の開催により、市内事業所の労働環境の改善や人材確保、雇用の安定等を図る。		(参考)前々年度決算額					
			385					
			総計重要プロジェクト	—				
事 業 要 概	<p>■京都労働局との連携事業[継続] 120千円 京都労働局との雇用対策協定に基づく合同企業説明会等により、市内企業と求職者とのマッチング機会を創出する。 ※幅広い求職者を対象</p> <p>■京都府北部地域連携都市圏推進協議会事業(協議会へ負担金)[継続] 367千円 北部圏域に不足する専門人材を確保するため、地方移住を希望する都市部学生等をターゲットに合同企業説明会&amp;インターンシップフェアを開催する。 (都市部での対面式及びオンライン形式) ※総事業費を北部7市町で按分(均等割25%、人口割75%)</p> <p>■宮津市子育て世代×観光事業者マッチング事業[新規] 200千円 子育て世代限定のオープンカンパニーや職場体験を開催する。 ※府子育てにやさしいまちづくり推進交付金の活用</p> <p>■宮津市ふるさと就職支援補助金[新規] 1,000千円 従業員の奨学金返済支援を行う市内事業所に対し、支援額の一部を支援する。 ※府の就労・奨学金返済一体型支援事業の上乗せ支援</p>		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	移住・定住促進				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同企業説明会を契機とした圏域内就職者数の増加</li> <li>・雇用の確保を通じた市内定住人口の増加</li> <li>・雇用のマッチングによる人材不足の解消</li> </ul> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転出超過数の減少</li> </ul> <p>R元:△63人/年 → R7:0人/年</p>							
担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係			45-1663		22・27		



# 子育て世代へのきめ細かなサポート拠点

～妊娠期から就学期まで、福祉・教育総合プラザで切れ目ない支援を展開～



事業名	宮津の新たな学び創造事業 ～明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成～	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2.4:小中一貫教育の全面実施、コミュニティ・スクールの本格導入</li> <li>・R3.3:宮津市教育大綱・教育振興基本計画(R3～R7)策定 宮津市学力向上プラン(R3～R7)策定 宮津市立小中学校において、1人1台ICT端末環境整備が完了</li> <li>・R5.4～:コミュニケーション教育の試行開始 中学校におけるオールイングリッシュ授業の開始</li> </ul>		95,580	1,088	37,390		52,330	4,772	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			9,290	国	公立学校情報機器整備費補助金	1,088	府	公立学校情報機器整備費補助金	34,723
			(参考)前年度決算額	府	子育てにやさしいまちづくり事業交付金	666	府	子どもの教育のための総合交付金ほか	2,001
			10,777	府	教育基金繰入金	52,000			
目的・目標	「明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成」を目指して、「質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実」「夢や志、豊かな感性を持った人づくり」「地域と一体となった学校づくり」を推進する。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
			テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
事業概要	<p>■論理的思考力や表現力、非認知能力の育成 3,038千円</p> <p>○コミュニケーション教育の推進 1,888千円【拡充】 演劇的手法を活用したワークショップ授業を通してコミュニケーション能力の基礎を培い非認知能力の育成・向上を図る ・年間3回のワークショップ型・双方向型のアクティブラーニングの実践 (対象:宮津小学校6年生、宮津中学校1年生、R7～3小連携事業として実施)</p> <p>○語学力向上に向けた取組 1,150千円 ・中学校におけるオールイングリッシュ授業(選択英語)の実施 ・「日本漢字能力検定」の活用(小4・小6での全員受検に係る検定料全額補助) ・「英語検定」の活用(中1・中3での全員受検に係る検定料全額補助)</p> <p>■学習における基礎・基本の徹底 2,369千円</p> <p>○算数学び定着サポーターの配置 小学校算数科における3・4年生児童への学力定着と向上を図る</p> <p>■ICTを活用した学習意欲の喚起、個別最適な学びと協働的な学びの実現 89,062千円</p> <p>○ICT端末の利用環境の充実(1人1台整備※更新)80,000千円【令和6年度3月補正】 更新予定台数:児童生徒用824台+15%(123台) 計947台</p> <p>○ICT端末運用に係る経費 9,062千円 AIドリルの活用、プログラミング教育の実施、インターネット回線使用料等</p> <p>■ふるさとみやぶ学 1,050千円</p> <p>○宮津の歴史・文化資源を活かした問題解決型学習等</p> <p>■教育フォーラムの開催 61千円</p>		施策分野	学校教育					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画	R2～R6				
			R2	宮津市教育大綱・教育基本振興計画	R3～R7				
			R2	宮津市学力向上プラン	R3～R7				
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年間を見通した連続性・一貫性がある教育課程の展開と保幼小中高の連携強化</li> <li>・質の高い学力の充実・向上(基礎・基本の徹底、論理的思考力や表現力の育成、ICTを活用した学習意欲の喚起と個別最適な学びの実現)</li> </ul> <p>【第7次宮津市総合計画目標数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査における教科に関する調査(算数・数学)の平均正答率 R元:小6 62.0、中3 62.0 →R7:全国平均・京都府平均以上</li> </ul>					
			担当部署	教育委員会 学校教育課 学校教育係	45-1641	34			



事業名	高校・大学・地域連携推進事業	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28～：次世代人材育成事業の展開（市内の高校と連携し、生徒がしごと等に対して向き合う講座などを支援し、将来のみやづを担う人材育成を図るもの）</li> <li>・R元～：大学等地域活動連携推進事業（大学・地域連携プロジェクト）の展開（大学からの提案による地域団体と協働事業を支援し、宮津市域での大学のフィールドワーク等の受入れを強化して、地域課題の解決を図るもの）</li> <li>・R4.5：「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」の開設（京都府立大学がサテライトオフィスを設置し、連携に向けた調整や大学生等の滞在拠点づくりを実施）</li> <li>・R5.5：「宮津市内高等学校・宮津市連携推進会議」の設置（連携や協働を通じて市内高校の支援体制の構築を図るため、市内の高校の学校長、市長、教育長などで構成する会議体）</li> <li>・R6～：「みやづの高校魅力向上プロジェクト」を展開していくこととし、「高校－大学連携コーディネーター」と「高校－地域連携コーディネーター」を配置</li> </ul>		9,900		2,000		2,400	5,500	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			5,283	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金	2,000	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金	2,400
			(参考)前々年度決算額						
			1,056						
目 的 目 標	市内の高校と市による「宮津市内高等学校・宮津市連携推進会議」を中心に、高校と大学や地域との連携を深め、市内の高校の魅力向上につなげるとともに、市の小中一貫教育等の展開と連動させ、一気通貫で宮津の将来を担う子ども達の育成を図る。また、大学との連携による地域の課題解決に向けた取組における伴走支援を行う。	総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり						
事 業 概 要	<p>■みやづの高校魅力向上プロジェクトの展開 9,900千円</p> <p>○高校－大学連携コーディネーターの配置 1,300千円 市内高等学校の大学等との連携による教育活動等の充実を支援するため、大学等との連携を行うコーディネーター（高校、大学双方の分野に精通した学識者）を配置するもの【令和6年度から配置中】</p> <p>○高校－地域連携コーディネーターの配置 5,500千円 市内高等学校の地域等との連携による協働活動を支援するため、高校生の地域での活動等に寄り添うコーディネーター（市内の高校の探究活動において地域との連携に携わっている事業者）を配置するもの【令和6年度から配置中】</p> <p>○中学生・高校生・大学生・地域連携事業の実施 3,000千円【新規】 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUをプラットフォームに、中学生や高校生を対象とした「放課後探究スクール（仮称）（学校外における探究活動などを大学や地域とも連携してサポートするプログラム）」などを実施するもの</p> <p>○市内高校と事業者等との連携による課題解決型の人材育成 100千円 市内高等学校と連携し、生徒が地域の課題解決や仕事等に対して向き合う講座などを支援することで、次代を担う人材を育成するもの</p> <p>■大学・地域連携プロジェクトの展開 ゼロ予算 京都府の「大学・学生とともにのぼす京都プロジェクト（地域と大学等が協働で取り組む地域活動への支援）」におけるフォロー など</p>	施策分野	関係人口創出・拡大、市民協働、学校教育、社会教育						
		【宮津市総合計画以外の計画】							
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の高校の魅力向上と次世代の人材育成</li> <li>・関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化</li> </ul> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元 44人 → R7 延べ300人</li> <li>・地域おこし協力隊や大学等と連携し課題解決に取り組む地域・団体数 R元 4地域・団体 → R7 8地域・団体 (3大学) (5大学) ( - ) (3地域おこし協力隊)</li> </ul>						
		担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係 社会教育課 社会教育係 企画財政部 移住定住・魅力発信課 移住定住促進係		45-1641 45-1642 45-1689	35			

事業名	農山漁村コミュニティ活性化事業	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	H24 農業の担い手不足等の地域課題を解決するために「人・農地プラン」策定を開始		13,010		1,240			11,770
	H29 農地利用最適化推進委員が配置され、プラン策定を推進		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
	R元 人・農地プラン実質化の取組開始(アンケートや地図を用いた話合いの推進)		3,252	府	京のむらづくり推進事業費補助金			1,240
	R4~ 新たな担い手確保に向けた地域の受入体制構築の支援及び半農半Xインターンシップ(農業体験・地域交流プログラム)を実施		(参考)前々年度決算額					
R5~ 法定化された「地域計画」策定の取組を開始(R7.3に10地区の計画を策定)			2,576					
目的・目標	農業の担い手が減少する中、地域農業を支える担い手等への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止を目指す地域計画の実現を支援する。 また、新規就農を支援する体制を強化し、新たな担い手の呼び込みを図る。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
事業概要	<b>■集落支援員の配置 2,587千円</b> R7.3に策定する地域計画の実現を支援するほか、農地の利用促進などを支援する集落支援員を配置する。		施策分野	農林水産業振興				
	<b>■新たな担い手受入体制構築支援補助金 300千円</b> 集落における担い手不足が深刻となる中、地域での新たな担い手の確保について地域が実施する情報発信や受入体制の構築に向けた取組を支援するほか、地域おこし協力隊員と地域が共に実施する農ある暮らし体験会等の農業体験・地域交流プログラムを支援する。		【宮津市総合計画以外の計画】					
	<b>○取組例</b> ・農村紹介パンフの作成、体験会の実施、就農者の相談に乗る世話人の配置や受入の取組・情報発信 <b>○補助率</b> ・定額(1地域当たり上限50千円)		期待される効果等	・遊休農地の発生防止 ・新規参入の促進 ・農村集落の活性化				
	<b>■新たな担い手確保のための支援体制の強化 10,123千円</b> 新規就農者の呼び込みや支援制度の案内、地域とのマッチング等を支援する地域おこし協力隊2名を配置する。			<b>【第7次宮津市総合計画数値目標】</b> ・耕作放棄地の面積 R元:426ha → R7:426ha ・新規就業者数(農業・漁業) R元:2人/年 → R7:3人/年				
<b>○活動内容</b> ・新規就農者の確保 (本市農業の実態把握、新規就農支援に必要な支援体制づくり) ・農業体験・地域交流プログラムの実施 (地域と連携した農業体験等の造成・提供) ・協力隊任期終了後の将来に向けた活動 (市のサポートを受けながら、宮津を盛り上げる活動等)		担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係		45-1626	38		





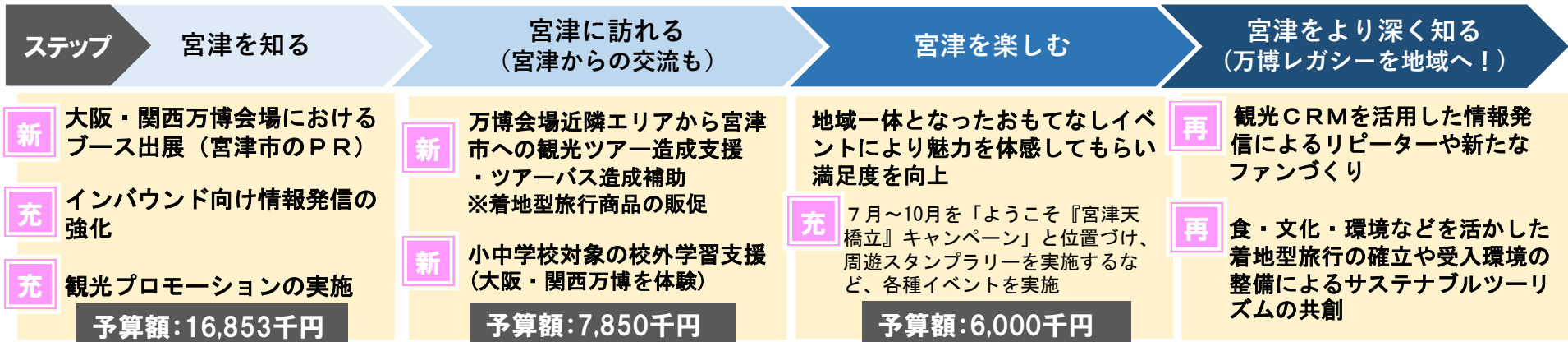
事業名	魅力ある商いづくり事業	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	・R02.12:信金中央金庫創立70周年記念事業『地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」』の寄附対象事業として選定。 (令和3年度～5年度まで未来天橋塾及びチャレンジおうえん補助金事業を実施) ・R03 創業等支援補助金、近代化デジタル化支援補助金の創設 ・R06 より実践的なステップアップ支援として未来天橋塾を開催ふるさと納税型クラウドファンディング活用事業補助金の創設		12,363	4,000			8,300	63
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目 的 目 標	地域経済の活性化に向け、関係機関と連携して市内事業者の新たなチャレンジ等を応援するとともに、ふるさと納税を活用した支援制度の導入により、事業者の新たな資金調達手段の確保や市場評価を導入するなど、事業者の状況に応じた様々な支援を行うことで、起業者の増加や事業者の経営強化につなげていくもの。		17,263	国 繰入	デジタル田園都市国家構想交付金 まちづくり基金繰入金			4,000 4,000
			(参考)前々年度決算額	29,051	寄附	まちづくり基金寄附金		
事 業 概 要	<b>■宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト事業【充実】 5,300千円</b> 市内における事業者の新たなチャレンジを応援する体制、制度を整備。 ①未来天橋塾の開催【継続、充実】 1,000千円 ・ステップアップ者へ実践的な知識や学びの場の提供及び伴走型の支援を目的に開催する。 ・スタートアップ支援として、意識変容やチャレンジ精神醸成のためセミナーを開催する。 ②ふるさと納税型クラウドファンディング活用事業補助金【継続】 4,300千円 事業者のチャレンジに対し、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングにより広く寄附を募り、集まった寄附金を活用し地場産品の開発や創業、事業拡大等を支援する。 (1) ふるさと納税返礼品開発支援(1,500千円) ふるさと納税返礼品の新規開発や生産拡大等を支援(補助額:寄附金額の40%) ※別途、ふるさと納税返礼品の購入(寄附金額の30%以下)により事業者の収益に寄与 (2) 事業者のチャレンジ支援(2,800千円) 創業や継業、事業の拡大等、幅広いチャレンジを支援(補助額:寄附金額の70%) <b>■創業等支援事業補助金【充実】 6,000千円</b> 比較的小規模な創業、第二創業等を支援する。(施設整備、広告費等) ・補助率1/2 上限50万円(飲食店創業は500千円、空き家活用は500千円を加算) <b>■DX化対応支援補助金【継続】 1,000千円</b> 業務効率化に向けたシステム導入やキャッシュレス対応等に係る経費を支援する。 ・補助率1/2 上限10万円 <b>■その他事務費等 63千円</b>		総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
			施策分野	商工業振興				
				【宮津市総合計画以外の計画】				
			期待される効果等	創業・第二創業等に新たに取り組む事業者の推進による地域経済の活性化 ・新たな土産物開発や新規出店による観光消費額拡大 ・地元産品のブランド化、高付加価値化 <b>【第7次宮津市総合計画数値目標】</b> ・創業・第二創業件数 70件/5年 ・製造品出荷額等 R元:95.5億円→R6:100億円 ・小売業販売額 H28:185.4億円→R8:190億円				
			担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係			45-1663	

事業名	「行くぞ、大阪・関西万博！」そして「万博レガシーを地域へ！」 (大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業、天橋義塾開校150周年事業 (文化財保護・活用推進事業))	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	R4.12 : 大阪・関西万博きょうと基本構想検討会設置 (京都府)		36,303	13,050			13,350	9,903	
	R4.12 : 国際博覧会担当大臣が修学旅行と校外学習を合わせて120万人の子どもたちに万博会場を訪れてもらうことを目標として表明								
	R5.5 : 大阪・関西万博きょうと推進委員会設置 (京都府) R7.4~10 : 大阪・関西万博開催		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
目的・目標	「大阪・関西万博」を本市の交流人口拡大に向けた絶好の機会と捉え、歴史、文化、観光資源などの魅力や、それらを未来につなげるための取組を国内外に強くアピールし、シックプライドの醸成につなげるとともに、観光誘客等による地域活性化を推進する。また、市内の小中学生が多様な国の文化や価値観に触れ、国際理解を深めるとともに、未来社会について考える貴重な機会であることから、教育の一環として万博を体験できる機会を持てるよう支援を行う。		9,500	国	新しい地方経済・生活環境創生交付金		13,050		
			(参考)前々年度決算額	繰入	まちづくり基金繰入金		9,300		
			7,325	繰入	観光振興基金繰入金		4,050		
事業概要	<p>■大阪・関西万博による交流人口の創出 30,703千円</p> <p>「宮津を知る」「宮津を訪れる」「宮津を楽しむ」「宮津をより深く知る」の4つのステップにおいて、地域一体となって交流人口の拡大に取り組む。</p> <p>□宮津を「知る」 16,853千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大阪・関西万博会場におけるPRブース出展 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西パビリオン (京都府ブース)</li> <li>・内閣府主催「地方創生SDGsフェス」など</li> </ul> </li> <li>○インバウンド向け情報発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特設ランディングページの運営</li> </ul> </li> <li>○観光プロモーションの実施支援</li> </ul> <p>□宮津に「訪れる」 7,850千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○万博会場近隣エリアからのツアーバス造成支援</li> <li>○小中学校を対象とした大阪・関西万博体験校外学習支援</li> </ul> <p>□宮津を「楽しむ」 6,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域一体となったおもてなしイベント等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・天橋義塾開校150周年記念 歴史資料館特別開館・企画展示&amp;スタンプラリー</li> <li>・天橋立砂浜ライトアップ等のナイトコンテンツの実施 など</li> </ul> </li> </ul> <p>□宮津をより深く知る (関係人口づくりへ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光CRMを活用した情報発信によるリピーターや新たなファンづくり など</li> <li>※観光DX事業 (観光CRMの構築) 【再掲】</li> </ul> <p>■大阪・関西万博における誘客の強化&lt;外部人材の活用&gt; 5,600千円</p> <p>地域コンテンツ及び「食」に特化したガストロノミーコンテンツ等について、着地型旅行商品として造成し、誘客につなげる。</p>	 <p>写真:京都府説明会資料より引</p>	総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト					
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり					
			施策分野	観光振興					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R3	宮津市観光戦略				R3~R7	
			R2	宮津市教育大綱・教育振興基本計画				R3~R7	
			R5	宮津市文化財保存活用地域計画				R6~R15	
			期待される効果等	<p>・大阪関西万博を契機とした観光誘客施策の推進による地域経済の振興</p> <p>・子どもたちが、様々な国の文化、SDGs達成の取り組みや未来社会等、多様な価値観等に触れることにより、夢・志・豊かな感性にあふれ、国際感覚豊かな子どもの育成につながる。</p> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流人口 R元:321万人⇒R7:325万人</li> <li>・外国人観光宿泊客数 R元:5.4万人⇒R7:10.0万人</li> <li>・観光消費額 R元:109億円⇒R7:125億円</li> <li>・観光宿泊客数 R元:64.9万人⇒R7:70.0万人</li> </ul>					
			担当部署	企画財政部企画課文化スポーツ振興係 産業経済部商工観光課観光係 教育委員会学校教育課学校教育係 教育委員会社会教育課社会教育係			45-1625		42


充実

# 「行くぞ、大阪・関西万博！」そして「万博レガシーを地域へ！」

「認知」から「訪問」、「訪問」から「満足」へ。「満足」から「定着」へ。観光から移住への道筋を創る。




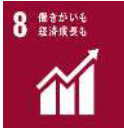


## 新規・充実事業について

<p><b>新</b> 大阪・関西万博会場におけるブース出展【12,853千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大阪・関西万博会場に出展し、本市のプロモーションを実施。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西パビリオン（多目的エリア） 5/2</li> <li>・関西パビリオン（京都府ブース） 5/19～5/25</li> <li>・内閣府主催「地方創生SDGsフェス」 5/28～6/1</li> <li>・BLUE OCEAN DOME（民間パビリオン） 6月（予定）</li> <li>・関西パビリオン（京都府ブース） 9/22～9/28</li> </ul> </li> </ul> 	<p><b>充</b> 観光プロモーションの実施を支援【3,000千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宮津への訪問を誘導するための国内外へのプロモーション実施を支援。</li> </ul>
<p><b>充</b> インバウンド向け情報発信の強化【1,000千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本市の万博関連情報の窓口となる特設LP（ランディングページ）による案内</li> </ul>	<p><b>新</b> 万博会場エリアからの観光ツアー造成支援【4,100千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 万博会場近隣エリア（大阪・京都）から宮津市へのツアーバス造成に対する費用の一部を支援等。 ※食や文化等を活かした着地型旅行商品の販促（BtoB）</li> </ul>
<p><b>新</b> 大阪・関西万博における誘客の強化【5,600千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外部人材を活用し、天橋立観光協会と連携して着地型旅行商品を<b>造成し、誘客につなげる。</b></li> </ul>	<p><b>再</b> 観光CRMの構築（観光DX事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域とともに実施する周遊スタンプラリーなどで観光CRM（顧客管理システム）を構築し、継続的に本市の魅力を発信しながらリピーターや新たなファンづくりへとつなげる。</li> </ul>


事業名	持続可能な観光地域づくり事業	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	R3.5:宮津市SDGs推進本部(庁内組織。市長が本部長)の設置 R4.3:「宮津市観光戦略」の策定 R3-R5:地域連携型観光コンテンツを造成(販路構築が課題) R5-R6:観光DXの構築(宿泊データ等を収集・分析する仕組みを構築) R5-R6:世界の持続可能な観光地TOP100に2年連続で選出		19,397	5,679	637		6,305	6,776
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	・宮津市観光戦略に基づき、「満足度の向上」「観光消費額の拡大」に向けた観光地域づくりを進めるとともに、観光DXを推進することにより、地域一体となり誘客活動に取り組める体制を構築する。 ・世界基準に基づく持続可能な観光地づくりを進めることにより、世界から選ばれる観光地となることを目指す。		45,312	国	新しい地方経済・生活環境創生交付金			5,679
			(参考)前年度決算額	府	丹後半島振興広域連携促進事業費補助金			167
			94,207	府	きょうと地域連携交付金			470
				繰入	まちづくり基金繰入金ほか			6,250
			諸	世界で最も美しい湾クラブ年会費分担金			55	
事業概要	<p><b>■持続可能な観光地域づくり事業 3,229千円</b> ○持続可能な観光地としての国際認証の取得 「世界から選ばれる観光地」の実現に向け、2023年、2024年に引き続き、更なるステージの国際認証取得に取り組む。 ○世界で最も美しい湾クラブとの連携強化 先進的な取り組みを進める加盟湾との連携強化を図り、本市の持続可能な観光の推進につなげる。また、湾クラブが持つネットワークを積極的に活用し、関係諸国からの誘客や世界遺産登録活動の推進につなげる。</p> <p><b>■観光DXの推進 6,218千円</b> 令和5から取り組んでいる宿泊データ収集・分析システムの活用を進めるとともに、観光CRMの構築に取り組む。 ・分析データを基にした観光プロモーション計画の策定支援&lt;外部人材の活用&gt; ・データ分析と活用に関するセミナーの開催 ・観光CRMの構築及び登録者拡大に向けたフックイベント(スタンプラリー等)の実施 ※万博事業と連携して実施</p> <p><b>■天橋立周辺渋滞対策及び水上オートバイ対策 2,950千円</b> 交通事業者と連携した渋滞緩和策や天橋立海面利用安全対策協議会への支援</p> <p><b>■宮津市観光戦略の改訂及び推進&lt;外部人材の活用&gt; 7,000千円</b> ・第2期宮津市観光戦略の策定 ・観光マネジメント、マーケティング機能等の強化</p>		総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
			施策分野	観光振興				
				【宮津市総合計画以外の計画】				
				R3	宮津市観光戦略			R3~R7
			期待される効果等	<p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光交流人口 R元:321万人⇒R7:325万人</li> <li>外国人観光宿泊客数 R元:5.4万人⇒R7:10.0万人</li> <li>観光消費額 R元:109億円⇒R7:125億円</li> <li>観光宿泊客数 R元:64.9万人⇒R7:70.0万人</li> </ul>				
			担当部署	産業経済部 商工観光課 観光係	45-1625	43		

事業名	美食のまちづくり推進事業	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景・経緯	・H25.2:学校法人大和学園・宮津市連携協定を締結 (連携事項:人材育成 観光振興 料理、土産物開発 食育の推進等) ・R 4.5:学校法人大和学園が前尾記念クロスワークセンターMIYAZUへの入居 (市民、市内企業及びクロスワークセンター入居企業等との連携促進) ・R 6 :観光庁「地域一体型ガストロノミーツーリズム推進事業」の実施 ・R 6 :飲食店活性化のための泊食分離実態調査の実施		2,800	1,050	350		1,400	0		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			4,700	国	デジタル田園都市国家構想交付金	1,050	府	丹後半島振興広域連携促進事業費補助金	350	
目的・目標	宮津市内の飲食産業の活性化を図るため、新たな市場へのチャレンジの誘導と意欲醸成を推進する。また、宮津市観光戦略に基づき「食(食材or料理)の質向上と高付加価値化による飲食率・宿泊率の向上」を図るとともに、食の魅力を観光業のみならず農林水産業、製造業等の幅広い分野を支える大きな産業につなげていく“美食のまちづくり”に向けた取組みを進める。		(参考)前々年度決算額	繰入	まちづくり基金繰入金		1,400			
			4,500							
			総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト						
事業概要	<b>■飲食産業活性化の推進 500千円</b> 宮津市内の飲食産業等の活性化に繋がる取組みを実施するもの。 ○アドバイザー派遣事業【継続】(500千円) 食のスタートアップ支援として市内事業者到大和学園講師をアドバイザーとして派遣・商品(メニュー)開発支援、開業支援(原価・諸経費を考慮した料金設定など)を実施 ○飲食店の創業支援【充実】(再掲 魅力ある商いづくり事業:2,000千円) 宮津中心市街地における飲食店創業に対する加算支援を新設。  <b>■宮津の食を中心とした誘客の推進 2,300千円</b> 宮津市内の食材を活かし、宮津市を訪れることで味わうことのできる「食」のコンテンツを造成、PRするガストロノミーツーリズムを推進するもの。 ○「宮津天橋立マリアージュ」ブランドの構築【継続】(2,100千円) 市内事業者が日本を代表する料理人と連携し、地酒と宮津の食材を活用した最高のペアリングで味わうために開発したメニュー等を宮津天橋立で旅をするなら絶対に食すべき「宮津天橋立マリアージュ」としてブランドを構築する。 ○「宮津ぶらりラボ」サイトのコンテンツ内容の充実【継続】(200千円) 大和学園と連携し、宮津市内における数々の観光資源や食や食文化の見える化や魅力再発見につなげるため制作した「宮津ぶらりラボ」サイトにより学生目線での情報発信強化等に取り組む。  <大和学園自主事業として継続> 宮津市内学生レストランを絡めたガストロノミーツアーは大和学園事業として継続		テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり						
			施策分野	商工業振興						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R3	宮津市観光戦略					R3~R7	
			期待される効果等	・一人あたり観光消費額の向上 【第7次総合計画数値目標】 ・観光交流人口 R元:321万人→R7:325万人 ・観光宿泊者数 R元:64.9万人→R7:70.0万人 ・外国人観光宿泊客数 R1:5.4万人→R7:10.0万人 ・観光消費額 R元:109億円→R7:125億円 【観光戦略KPI】 ・顧客満足度(大変満足) R3:33%→R7:40%						
			 							
			担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係・観光係					45-1663 45-1625	45




事業名	宮津湾にぎわいづくり促進事業	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H19.4 京都府から田井宮津ヨットハーバーの無償譲渡を受ける 田井自治会に無償貸付(運営:田井宮津ヨットハーバー管理運営組合)</li> <li>・H20.3 「海の駅」登録</li> <li>・H22.9 「みなとオアシスたいみやづ」登録</li> <li>・R3.10~株式会社にしがきによる田井宮津ヨットハーバーの運営スタート</li> <li>・R3.11 田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会を発足</li> <li>・R4~R6 以降、宮津田井海まちフェスタを開催。</li> </ul>		1,000	400		400	200		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			2,000	国	新しい地方経済・生活環境創生交付金		400		
			(参考)前々年度決算額	繰入	まちづくり基金繰入金		400		
			5,054						
目的・目標	「田井臨海エリア」の海を活用した賑わい創出を基に、宮津港湾全域の活用へと拡大していくため、海上交通ネットワーク化の実証実施と併せ、みなとオアシスエリアの拡大に向けた新たな協議会において宮津港湾の活用ビジョンを作成し、市内外の多様な団体と連携した宮津港湾の新たな魅力づくりを推進する。		総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト					
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり					
事業概要	<p>■みなとオアシス拡大による宮津港のにぎわいづくりに向けた取組</p> <p>◆宮津港湾活用ビジョンの作成 200千円 みなとオアシスの宮津港湾全域への拡大による賑わい創出に向け、宮津港湾活用ビジョンを関係機関で構成する協議会で作成するもの</p> <p>◆田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会への支援 600千円 多くの外国人観光客の来訪が見込まれる2025大阪・関西万博に合わせ、にぎわいづくりイベント時に海上交通のネットワーク化の実証実験を実施することで、にぎわいの拡大を創出するとともに、新たに海上交通の観光資源化を目指すもの ・田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会への交付金 【令和7年度の事業予定】 ○にぎわいづくりイベント実施時、各拠点(宮津市街地・文珠地区・府中・日置地区など)との海上交通ネットワーク化の実証実験を実施 ○府内みなとオアシス4港連携事業の実施 ○民間事業者等の連携による商品等コンテンツ造成</p> <p>■B&amp;G艇庫の管理 200千円</p>		施策分野	海の活用					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たににぎわいの創出による地域の活性化</li> <li>・「スポーツ×観光」のまちづくり</li> <li>・観光入込客数の増加</li> </ul> <p>[KPI] ○栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数 R元: 46.2万人 ⇒ R7: 46.8万人</p>				  	
			担当部署	企画財政部 企画課		文化スポーツ振興係		45-1718	47

事業名	再生可能エネルギーの普及推進 (持続可能な環境づくり推進事業・小学校施設整備事業・中学校施設整備事業・公民館整備事業)	充実	予算額	財 源 内 訳																																		
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																														
背景・経緯	・R2. 6: 「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を宣言 ・R3. 10: 気候非常事態宣言(与謝野町との共同宣言) 宮津市環境基本計画策定 ・R3~ : 再生可能エネルギーの普及・活用に向けた調査・設計等の実施		281,921	207,965	5,170	68,600		186																														
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																																		
目的・目標	環境基本計画に基づき、再生可能エネルギーの利用促進及び発電施設の整備促進など、脱炭素社会の構築に向けた取組を進め、環境負荷の小さなまちを目指す。		49,627	国	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金			173,621																														
			(参考)前々年度決算額	府	学校施設環境改善交付金			34,344																														
事業概要	<b>■公共施設における再生可能エネルギーの導入等 276,661千円</b> 公共施設への再生可能エネルギーの導入と脱炭素社会の理解促進、再生可能エネルギーを活用したエコ観光地づくりの実現に向けて、公共施設の屋根への太陽光パネル設置及び蓄電池の導入等を行い、再生可能エネルギーの理解促進を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名及び事業区分</th> <th>事業費</th> <th>発電量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府中小学校</td> <td>79,244千円</td> <td rowspan="3">約27kW</td> <td rowspan="3">小学校施設整備事業 (防水シート張替含む)</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>76,758千円</td> </tr> <tr> <td>施工管理</td> <td>2,486千円</td> </tr> <tr> <td>宮津中学校</td> <td>122,837千円</td> <td rowspan="3">約58kW</td> <td rowspan="3">中学校施設整備事業 (防水シート張替含む)</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>120,010千円</td> </tr> <tr> <td>施工管理</td> <td>2,827千円</td> </tr> <tr> <td>府中地区公民館</td> <td>64,636千円</td> <td rowspan="3">約14kW</td> <td rowspan="3">公民館整備事業 (グリーンスローモビリティ充電拠点機能整備含む)</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>62,150千円</td> </tr> <tr> <td>施工管理</td> <td>2,486千円</td> </tr> <tr> <td>宮津ターミナルセンター</td> <td>9,944千円</td> <td>-</td> <td rowspan="2">持続可能な環境づくり推進事業</td> </tr> <tr> <td>詳細設計</td> <td>9,944千円</td> </tr> </tbody> </table>	施設名及び事業区分	事業費	発電量	備考	府中小学校	79,244千円	約27kW	小学校施設整備事業 (防水シート張替含む)	施設整備	76,758千円	施工管理	2,486千円	宮津中学校	122,837千円	約58kW	中学校施設整備事業 (防水シート張替含む)	施設整備	120,010千円	施工管理	2,827千円	府中地区公民館	64,636千円	約14kW	公民館整備事業 (グリーンスローモビリティ充電拠点機能整備含む)	施設整備	62,150千円	施工管理	2,486千円	宮津ターミナルセンター	9,944千円	-	持続可能な環境づくり推進事業	詳細設計	9,944千円	総計重要プロジェクト	—
			施設名及び事業区分	事業費	発電量	備考																																
府中小学校	79,244千円	約27kW	小学校施設整備事業 (防水シート張替含む)																																			
施設整備	76,758千円																																					
施工管理	2,486千円																																					
宮津中学校	122,837千円	約58kW	中学校施設整備事業 (防水シート張替含む)																																			
施設整備	120,010千円																																					
施工管理	2,827千円																																					
府中地区公民館	64,636千円	約14kW	公民館整備事業 (グリーンスローモビリティ充電拠点機能整備含む)																																			
施設整備	62,150千円																																					
施工管理	2,486千円																																					
宮津ターミナルセンター	9,944千円	-	持続可能な環境づくり推進事業																																			
詳細設計	9,944千円																																					
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり																																		
			施策分野	環境																																		
			【宮津市総合計画以外の計画】																																			
			R3	宮津市環境基本計画			R3~R12																															
			R4	第2期学校施設整備年次計画			R5~R9																															
			R4	宮津市学校施設長寿命化計画			R5~R14																															
			期待される効果等	脱炭素社会の構築に向けた市民、事業者の理解の促進 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・二酸化炭素排出量(年間) H25:135,000t-co2 → R7:95,000t-co2 ・市施設の公共調達における再生可能エネルギー電力の割合 R元:16.0% → R7:60.0% [参考] 太陽光発電システム 1基(4kw): 約1.7t-CO2/年の削減																																		
			担当部署	市民環境部市民環境課 環境衛生係 教育委員会事務局学校教育課学校給食・施設係 教育委員会事務局社会教育課社会教育係 企画財政部企画課企画政策係	45-1617 45-1662 45-1642 45-1664		48・ 49・60																															
	<b>■再生可能エネルギーの導入支援 5,260千円(充実)</b> 住宅用太陽光発電システム、住宅用蓄電システム及び高効率給湯機器設備を同時設置する経費の一部を支援する。 ・(継続)住宅用太陽光発電システム・蓄電池同時導入支援(FIT売電可) 140千円×1基 ・(新規)住宅用太陽光発電システム・蓄電池同時導入支援(FIT売電不可) 280千円×4基 ・(新規)高効率給湯機器設備等導入支援 800千円×5基																																					

事業名	持続可能な農業づくり (持続可能な農業づくり事業、環境保全型農業直接支払交付金事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3. 5 国が「みどりの食料システム戦略」を決定</li> <li>・R5. 3 京都府と府内26市町村の共同により「京都府みどりの食料システム基本計画」を策定</li> <li>・R5.10 宮津市認定農業者協議会が環境に配慮した農業の研究を開始</li> <li>・R6. 8 京都府有機農業アドバイザーの指導を受け、化学肥料・化学農薬不使用の野菜（タマネギ等）の実践栽培をスタート</li> </ul>		3,420		1,582		170	1,668
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			2,032	府	農と環境を守る地域協働活動支援事業交付金		1,412	
				府	きょうと地域連携交付金		170	
			(参考)前々年度決算額	繰入	自然環境保全基金繰入金		170	
		1,757						
目 的 目 標	環境保全に配慮した取組を推進し、環境負荷低減の取組を通じた栽培技術の向上や流通の拡大・安定を図り、農業者の販売力を高めることにより、本市農業の持続的発展に繋げる。		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
事 業 要 概	<p><b>■環境にやさしい農業の普及と流通の安定 1,550千円【充実】</b> 有機農業の取組や化学肥料等の使用低減等、環境に配慮した農業による持続的な農業経営の検討に必要な知識や栽培技術力の習得を支援し、意識付けを図るとともに、共同取組による農業者間の連携を推進する。 また、副業型地域活性化起業人を活用し、農産物流通の拡大・安定化を検討する。 〈事業内容〉研修会、農産物の実践栽培等、農産物流通の拡大・安定化の検討</p> <p><b>■環境保全型農業直接支払交付金 1,870千円</b> 有機農業等環境保全効果の高い営農活動等、農業者で構成される組織が実施する化学肥料等を低減する取組に対して交付金を交付する。 〈取組内容〉カバークロップ、有機農業等 〈交付対象〉3組織</p>		施策分野	農林水産業振興				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷の低減</li> <li>・農業所得の向上</li> <li>・地産地消の推進</li> </ul> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地の面積 R元:426ha → R7:426ha</li> <li>・新規就業者数(農業・漁業) R元:2人/年 → R7:3人/年</li> </ul>				
								
			担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係			45-1626	51











事業名	ごみの減量・資源化促進事業 ～プラスチック等資源循環の促進等に関する条例「取組の具現化」～	継続	予算額	財 源 内 訳																												
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																								
背景・経緯	・R2. 6: 「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を宣言 ・R3. 10: 「気候非常事態」宣言 (与謝野町との共同宣言) 宮津市環境基本計画策定 ・R5. 1: 宮津市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例の施行 ・R6. 2: 宮津市資源循環の促進等に関する基本的な指針(第1次)策定		5,277		300		2,400	2,577																								
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																												
目的・目標	環境基本計画及びプラスチック等資源循環の促進等に関する条例に基づき、廃棄物等の排出抑制や循環資源の再資源化などの促進を図り、脱炭素社会、循環型社会及び自然共生社会の実現を目指す。		5,032		府 繰入	きょうと地域連携交付金 自然環境保全基金		300 2,400																								
			(参考)前々年度決算額																													
事業概要	<b>■ごみの減量化・資源化の推進 1,800千円</b> 基本指針で定める資源循環の促進に向けた具体的取組を推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>これまでの取組み</th> <th>令和7年度取組み</th> <th>今後の取組み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃棄物等の排出抑制と循環資源の再資源化に適した質の高い分別回収 (Reduce/Reuse/Recycle/Renewable)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>資源ごみ回収活動報奨制度</li> <li>資源ごみ回収拠点リストの作成・普及</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンポストモニター制度の実施</li> <li>地区単位に資源ごみ回収の定着化 (拠点設置推奨、雑紙・衣類等の回収の実施)</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンポストの利用者の拡大 (生ごみの削減)</li> <li>地域住民等が主体となった資源回収の拡大</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>分かりやすい情報提供</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌、HP等の活用</li> <li>どこでも職員講座の実施</li> <li>宮津与謝クリーンセンター施設見学会の実施</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs 特設サイトの活用</li> <li>イベント等における啓発</li> <li>分かりやすいごみ分別の普及</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な媒体・イベント等を活用した情報発信</li> <li>観光客にも分かりやすい分別ルールの普及</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>海洋プラスチックごみ対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>天橋立一斉清掃・阿蘇海協働会議など市民・企業・団体等と連携した清掃活動</li> <li>不法投棄対策</li> </ul> </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>環境教育及び環境学習の推進</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校等における環境教育</li> <li>阿蘇海フェスタ・SDGs フェスタの実施</li> <li>地元企業と連携した学習機会の創出 (使い捨てカイロのリサイクルなど)</li> </ul> </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>食品ロスの削減</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロス削減月間の啓発</li> <li>食品ロス講習会の実施</li> <li>てまえどりポップ作成・普及</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>小売店、飲食・宿泊施設での食品ロス削減の啓発 (ポップ掲示等)</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>食べ残しゼロ・食材の使い切りの普及啓発</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		これまでの取組み	令和7年度取組み	今後の取組み	廃棄物等の排出抑制と循環資源の再資源化に適した質の高い分別回収 (Reduce/Reuse/Recycle/Renewable)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ごみ回収活動報奨制度</li> <li>資源ごみ回収拠点リストの作成・普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンポストモニター制度の実施</li> <li>地区単位に資源ごみ回収の定着化 (拠点設置推奨、雑紙・衣類等の回収の実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンポストの利用者の拡大 (生ごみの削減)</li> <li>地域住民等が主体となった資源回収の拡大</li> </ul>	分かりやすい情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌、HP等の活用</li> <li>どこでも職員講座の実施</li> <li>宮津与謝クリーンセンター施設見学会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs 特設サイトの活用</li> <li>イベント等における啓発</li> <li>分かりやすいごみ分別の普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な媒体・イベント等を活用した情報発信</li> <li>観光客にも分かりやすい分別ルールの普及</li> </ul>	海洋プラスチックごみ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>天橋立一斉清掃・阿蘇海協働会議など市民・企業・団体等と連携した清掃活動</li> <li>不法投棄対策</li> </ul>			環境教育及び環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校等における環境教育</li> <li>阿蘇海フェスタ・SDGs フェスタの実施</li> <li>地元企業と連携した学習機会の創出 (使い捨てカイロのリサイクルなど)</li> </ul>			食品ロスの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロス削減月間の啓発</li> <li>食品ロス講習会の実施</li> <li>てまえどりポップ作成・普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小売店、飲食・宿泊施設での食品ロス削減の啓発 (ポップ掲示等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ残しゼロ・食材の使い切りの普及啓発</li> </ul>	総計重要プロジェクト	—	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり	施策分野	環境
				これまでの取組み	令和7年度取組み	今後の取組み																										
廃棄物等の排出抑制と循環資源の再資源化に適した質の高い分別回収 (Reduce/Reuse/Recycle/Renewable)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ごみ回収活動報奨制度</li> <li>資源ごみ回収拠点リストの作成・普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンポストモニター制度の実施</li> <li>地区単位に資源ごみ回収の定着化 (拠点設置推奨、雑紙・衣類等の回収の実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンポストの利用者の拡大 (生ごみの削減)</li> <li>地域住民等が主体となった資源回収の拡大</li> </ul>																													
分かりやすい情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌、HP等の活用</li> <li>どこでも職員講座の実施</li> <li>宮津与謝クリーンセンター施設見学会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs 特設サイトの活用</li> <li>イベント等における啓発</li> <li>分かりやすいごみ分別の普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な媒体・イベント等を活用した情報発信</li> <li>観光客にも分かりやすい分別ルールの普及</li> </ul>																													
海洋プラスチックごみ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>天橋立一斉清掃・阿蘇海協働会議など市民・企業・団体等と連携した清掃活動</li> <li>不法投棄対策</li> </ul>																															
環境教育及び環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校等における環境教育</li> <li>阿蘇海フェスタ・SDGs フェスタの実施</li> <li>地元企業と連携した学習機会の創出 (使い捨てカイロのリサイクルなど)</li> </ul>																															
食品ロスの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロス削減月間の啓発</li> <li>食品ロス講習会の実施</li> <li>てまえどりポップ作成・普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小売店、飲食・宿泊施設での食品ロス削減の啓発 (ポップ掲示等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ残しゼロ・食材の使い切りの普及啓発</li> </ul>																													
				【宮津市総合計画以外の計画】																												
				R3	宮津市環境基本計画			R3～R12																								
				R5	宮津市資源循環の促進等に関する基本的な指針(第1次)			R5～R12																								
				期待される効果等																												
				脱炭素社会、循環型社会及び自然共生社会が実現し、将来へ良好な環境を引き継ぐ。 ごみの再資源化率【第7次総合計画KPI】 R元(基準)19.4% → R7(目標)25.0% 一人1日あたりごみ排出量【環境基本計画KPI】 H30(基準)972g → R12(目標)875g																												
																																
				担当部署	市民環境部 市民環境課 環境衛生係			45-1617	52																							
<b>■宮津市廃棄物減量等推進審議会の開催 359千円</b> 資源循環の促進等に関する基本的な指針の進捗管理等																																
<b>■事務費 (会計年度任用職員) 3,118千円</b>																																

事業名	行政DXの推進 (デジタルトランスフォーメーション推進事業)	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R02. 12: デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針 (閣議決定)</li> <li>・ R02. 12: デジタル・ガバメント実行計画 (閣議決定)</li> <li>・ R02. 12: 自治体DX推進計画 (総務省)</li> <li>・ R03. 06: 宮津市DX推進本部設置</li> <li>・ R04. 12: 宮津市DX推進計画策定</li> <li>・ R05. 04: CIO補佐監設置</li> <li>・ R05. 09: CIO補佐監現地パートナー設置</li> </ul>		43,810		1,730		30,834	11,246		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			56,910	府	きょうと地域連携交付金			1,730		
			(参考)前々年度決算額	諸	デジタル基盤改革支援補助金			30,834		
			18,798							
目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DXを活用した市役所窓口サービス等の高度化・向上</li> <li>・ DXを活用した新たな価値創造のための市役所内部業務の効率化・高度化</li> <li>・ DXを活用した地域課題の解決・各政策の新たな展開</li> </ul>		総計重要プロジェクト	—						
			テーマ別戦略	—						
事業概要	<p>■市役所窓口サービス等の高度化・向上</p> <p>○行政手続きのオンライン化に係る電子申請システムの更改 ※京都府・市町村共同電子申請システムの機能向上 (府内市町村共同調達共同利用)</p> <p>■市役所内部業務の効率化・高度化 36,334千円</p> <p>○自治体情報システム標準化・ガバメントクラウドへの移行: 35,773千円 (児童手当、児童扶養手当、子ども子育て支援、介護保険、後期高齢者医療保険) (戸籍、戸籍附票、健康管理、障害者福祉の各システムは所管課計上)</p> <p>○内部事務の効率化・運用改善: 561千円 ・テレワーク実証環境整備 (モバイルWiFiの調達)</p> <p>■DXを活用した地域課題の解決・各政策の新たな展開</p> <p>○行政MaaS研究継続 (保健指導/行政相談/移動受付窓口等)</p> <p>■推進体制の強化 7,476千円</p> <p>○CIO補佐監 (プロデューサークラス) の設置継続</p> <p>○DX民間人材 (エンジニア) の登用 (地域活性化企業人制度の活用) 【新規】</p>		施策分野	—						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R2	第2期行財政運営指針					R2~R7	
			R4	宮津市DX推進計画					R5~R7	
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「行かなくてもいい市役所」「書かなくてもいい窓口」の実現</li> <li>・内部業務効率化による市役所の新たな価値の創造</li> </ul>						
			担当部署	総務部 総務課 情報推進係			45-1602	54		

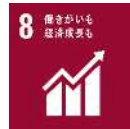
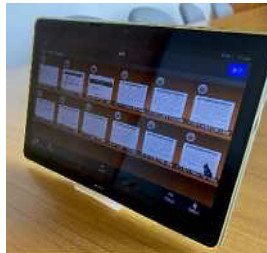


令和7年度DX推進の取組 ～つなごうデジタル宮津～

取組を継続

		これまでの取組	R7の取組	今後の取組
<b>DX推進 重点施策</b>    	<b>市役所窓口サービスの高度化・向上</b> ・行かなくてもいい市役所、行政手続きのオンライン化拡大 ・書かない窓口、手続きのワンストップ化  ・マイナンバーカード普及促進	◆行かなくてもいい市役所、行政手続きのオンライン化拡大 ・びったりサービス連携による手続きのオンライン化(子育て、介護、住民異動等32手続き) ・申請様式の統一化・共通化(R6) ・公共施設予約案内システム導入 ・公式LINE充実 ・マイナンバーカードの普及・促進体制の強化 ・公共工事の電子入札開始	◆行政手続きのオンライン化のさらなる拡大に向け、新電子申請システムサービスイン 32手続き→72手続きに拡大 ◆書かない窓口、手続きのワンストップ化に向けた準備 ・アナログ改善の継続	◆行政手続きのオンライン化のさらなる拡大(手続き数の拡大) ※500手続きのオンライン化を目指す ◆書かない窓口、手続きのワンストップ化 ・書かない窓口システム導入 ・マイナンバーカード利用拡大 ・コンビニ交付の導入
	<b>市役所内部業務の効率化・高度化</b> ・自治体情報システムの標準化 ・AI/RPAの導入拡大 ・内部事務の効率化、運用改善 ・テレワーク・リモートワークの拡大 ・セキュリティ対策の徹底	◆自治体情報システム標準化準備 ・生保システム標準化(R6)  ◆AI/RPAの導入・拡大 ・RPA:国保年金、介護保険、地域福祉、健康増進に導入(順次シナリオ数拡大) ・AI:生成AI試行、LINE連携ツール内でチャットボットとして利用、AI文字おこしツールの導入(R6) ◆内部事務の効率化・運用改善 ※R4～R6 約8,000時間を創出 ◆テレワーク・リモートワークの試行  ◆セキュリティ対策の徹底	◆自治体情報システム標準化対応 ・9システムを移行(1→10システムが標準化済み) ・8システムの移行準備 ◆AI/RPAの導入拡大・RPA利用拡大 ・RPA利用拡大準備 ・生成AI利用ガイドライン作成  ◆内部事務の効率化・運用改善 ・文書、財務事務ルールの見直し等アナログ改善の継続 ◆テレワーク・リモートワークの試行継続 ◆セキュリティ対策の継続	◆自治体情報システム標準化 R8:8業務システムを標準化移行 R9:1業務システムを標準化移行(移行完了) ◆AI/RPAの導入拡大 取組継続  ◆内部事務の効率化・運用改善 ・文書事務の完全電子化の実現
	<b>地域課題の解決・各施策の新たな展開</b>  	◆スマート医療の実証 ・医療MaaSの実証 ◆スマートモビリティの実証 ・グリーンスローモビリティの試行 ◆スマート観光の実証 観光DX(高付加価値化事業) ◆スマート農林水産業実現に向けて ・農業委員へのタブレット端末配置(農地調査の効率化) ・土地利用情報(農地、宅地)のデジタルデータ化	◆スマート医療のサービスイン  ◆スマートモビリティの試行継続  ◆スマート観光の実現  ◆行政MaaSの研究継続	※それぞれ研究・試行結果を踏まえてサービスイン
<b>計画の推進</b>  	<b>推進体制</b>	◆DX推進計画策定(R4.12) ◆DX推進本部設置	◆計画期間の見直し	◆社会情勢の変化に合わせて推進体制を革新していく
	<b>デジタル人材の育成・確保</b>	◆外部人材の登用(副業・兼業プロ人材活用、CIO補佐監配置) ◆職員研修の実施	◆外部人材の登用	◆デジタル人材の育成継続 ◆外部人材の登用


事業名	議会運営に係るDX推進(議会運営事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4.10:議会活性化特別委員会を設置し 議会運営に係るDX推進調査研究を所管</li> <li>・R5.08:ペーパーレス化の準備(議員がタブレットを自費購入、ペーパーレス文書共有システムSideBooks体験版をインストール)</li> <li>・R5.09:議会9月定例会～タブレット持込(紙版併用)でペーパーレス化の実証運用開始</li> <li>・R6.06:議会6月定例会～本会議・委員会の議案・資料等完全ペーパーレス化</li> <li>・R6.06:宮津市議会DX推進計画を策定(～R7年度)</li> </ul>		1,013				1,000	13
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			25	繰入	まちづくり基金繰入金			1,000
目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会のデジタル化で市民・学校・市執行部など議会に関わる全てが手続の利便性向上、学習効果の向上、議会事務の負担軽減などメリットを享受</li> <li>・デジタル化による効率化等で議会機能を向上し、より住民の負託に応える議会に</li> <li>・議会活動の透明性の向上と住民参画の促進</li> </ul>		(参考)前々年度決算額					
			—					
事業概要	<p>■議会運営の充実による議会機能の向上・議会事務等の効率化 1,013千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペーパーレス会議システムの導入 793千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化による円滑な会議運営とグループウェアによるカレンダー・情報の共有化</li> </ul> </li> <li>○議場、委員会室等ネットワーク環境の構築(ホームルーターの購入整備) 220千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス会議の充実</li> <li>・オンライン会議の推進                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時等緊急時を想定した委員会・全員協議会のオンライン出席の実現</li> <li>市内小中学生とのオンライン交流の推進</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○議会SNSの充実 ゼロ予算                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会活動の見える化の推進</li> <li>・オンラインアンケートを活用した広聴の推進</li> </ul> </li> </ul>		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	—				
			施策分野	—				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R6	宮津市議会DX推進計画			R5～R7	
期待される効果等	<p>◆チェック・政策立案の議会機能の向上</p> <p>デジタル技術を活用して議会運営の効率化やオンライン化により、最良の意思決定を行う機関として議会運営の充実を図り、議会の重要機能である審議・審査及び期待される政策立案等の機能向上を図る。</p> <p>◆多様な民意を市政に反映</p> <p>デジタル技術を活用して議会活動情報の発信を強化し、議会活動の見える化を通じて市民・議会の双方向のコミュニケーションの充実を図り、多様な民意を市政に反映させる。</p> <p>◆事務の効率化</p> <p>議案資料、スケジュール等のデータ共有・ペーパーレス化による印刷経費削減及び当該人件費削減、送付の迅速化</p>							
担当部署	議会事務局 議事調査課 議事調査係		45-1639		55・230			




事業名	物価高騰下での給食費保護者負担軽減対策 (給食費高騰対策支援事業、学校給食運営事業、保育所運営事業)	継続	予算額	財源内訳																													
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																									
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国消費者物価指数(食料)前年度同月比 3.5%増 (R6.8月~10月平均)</li> <li>学校給食会精米供給価格 前年度対比 30.3%増</li> <li>牛乳改定価格(見込み) 前年度対比 2.7%増</li> <li>R6 給食費高騰支援の実施 (R4の保護者負担額を据置き、差分を公費負担) ※公立保育所についてはR5に料金改定実施 (地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰分を補助)</li> <li>R6.12:宮津市学校給食委員会食材調達部会を開催し、給食費の値上げを協議</li> </ul>		11,119	11,119				0																									
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																													
			7,851	国	地方創生臨時交付金			11,119																									
			(参考)前々年度決算額																														
目的・目標	急激な物価高騰により給食食材費の高騰が続く中、小中学校、就学前施設の給食費について、保護者負担の増加を軽減するため、給食費の物価高騰に係る増額分の緊急支援を行う。		総計重要プロジェクト	—																													
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり																													
事業概要	<p>■民間保育園、認定こども園、自校給食実施校への支援 1,393千円</p> <p>○支援内容:物価高騰による給食費の増額改定を実施した施設の園児、児童分を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育園給食:民間保育園・認定こども園・認可外保育施設 500円/月</li> <li>学校給食:自校給食実施校 40円/食</li> </ul> <p>○対象期間:令和7年4月~令和8年3月</p> <p>○参考:給食費の状況(民間保育園及び認定こども園の場合) (R4保護者負担額) (物価高騰による給食費値上げ必要額)</p> <p>6,000円/月 → 6,500円/月 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(+500円) ※支援額</span></p> <p>■公立保育所、センター方式給食の公立幼稚園・小・中学校への支援 9,726千円</p> <p>○支援内容:給食費の増額改定における、物価高騰による部分を支援</p> <p>※給食費の実質の徴収額を抑制し支援する</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th></th> <th>(R4保護者負担額)</th> <th>(料金改正後)</th> <th>(R7据置額)</th> <th>(支援額)</th> </tr> <tr> <td>・保育所</td> <td>5,000円/月</td> <td>→ 6,500円/月</td> <td>【6,000円/月】</td> <td>+500円/月</td> </tr> <tr> <td>・幼稚園</td> <td>180円/食</td> <td>→ 225円/食</td> <td>【180円/食】</td> <td>+45円/食</td> </tr> <tr> <td>・小学校</td> <td>250円/食</td> <td>→ 310円/食</td> <td>【250円/食】</td> <td>+60円/食</td> </tr> <tr> <td>・中学校</td> <td>290円/食</td> <td>→ 365円/食</td> <td>【290円/食】</td> <td>+75円/食</td> </tr> </table> <p>※公立保育所のみR5に料金改定実施(5,000円/月→6,500円/月)</p> <p>※給食費については、国・府の補助金等の支援策を今後も注視するとともに、府内の自治体及び市民所得の動向も踏まえ、段階的に保護者負担を求めていくことを検討する。</p>		(R4保護者負担額)	(料金改正後)	(R7据置額)	(支援額)	・保育所	5,000円/月	→ 6,500円/月	【6,000円/月】	+500円/月	・幼稚園	180円/食	→ 225円/食	【180円/食】	+45円/食	・小学校	250円/食	→ 310円/食	【250円/食】	+60円/食	・中学校	290円/食	→ 365円/食	【290円/食】	+75円/食		施策分野	子育て支援				
			(R4保護者負担額)	(料金改正後)	(R7据置額)	(支援額)																											
		・保育所	5,000円/月	→ 6,500円/月	【6,000円/月】	+500円/月																											
		・幼稚園	180円/食	→ 225円/食	【180円/食】	+45円/食																											
		・小学校	250円/食	→ 310円/食	【250円/食】	+60円/食																											
・中学校	290円/食	→ 365円/食	【290円/食】	+75円/食																													
【宮津市総合計画以外の計画】																																	
R6	第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画					R7~R11																											
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>物価高騰等により値上げが想定される就学前施設の給食費相当を支援することにより、保護者負担の増加を抑制し、安心して給食が提供できる環境を維持する。</li> <li>急激な物価高騰の影響下にあっても、学校給食において現行の保護者負担額で、必要な栄養価や量などの質を保った一汁三菜の手作りの学校給食を引き続き提供することができる。</li> </ul>																																
担当部署	子ども未来課 学校教育課		子ども福祉係 学校給食・施設係		45-1640 45-1662	21																											

令和7年3月定例会 令和7年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)


事業名	地域内消費拡大事業	新規	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	物価高騰等により幅広い業種において利益が縮小しているとともに、市民生活に影響が生じている。		55,000	55,000				0
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
補正理由及び目的・目標	物価高騰等の影響を受けている市内の事業所及び市民の生活を支援するとともに、市内消費の喚起・拡大を図るため、プレミアム付き商品券を発行する宮津商工会議所を支援する。		—	国	地方創生臨時交付金			55,000
			(参考)前々年度決算額					
事業概要	■プレミアム付き商品券の発行支援 55,000千円		総計重点プロジェクト	—				
	○プレミアム付き商品券の概要		テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
	事業費等	55,000千円(プレミアム分45,000千円、事務費等10,000千円)	施策分野	商工業振興				
	発行内容	商品券13,000円分を10,000円分で販売(プレミアム率30%) 発行総額1億9,500万円(15,000セット)	【宮津市総合計画以外の計画】					
	商品券の内容(案)	2種類の額面1,000円券を13枚1セットとする ○個店限定券(5,000円)…店舗面積1,000㎡を超える小売店舗を除く店舗で使用可能 ○全店共通券(8,000円)…全ての店舗で使用可能	期待される効果等	地域内の消費喚起及び家計への支援に資する。				
	購入制限等	一人あたり2セット(2万円)まで購入可能 ※市民限定とし、同一世帯分をまとめて申込可能。						
	発行時期	令和7年8月頃予定 ※利用期間は発行日から4か月程度で調整中						
	申込方法	はがき、ネット等により購入申込を受付(申込期間(予定):R7.4月~6月) ○1セット目は必ず購入可能、申込超過時は2セット目以降を抽選 ※購入希望者に抽選結果を通知						
	購入方法	抽選結果通知と引き換えに商品券を販売						
	取扱店舗	取扱を希望した市内店舗						
その他	商品券の販売状況によって申込制での追加販売を検討(会場販売は実施しない)							
		担当部署			産業経済部 商工観光課 商工係	45-1663	62	


事業名	定額減税補足給付金給付事業 (不足額給付)	継続	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5.11.2:「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を閣議決定</li> <li>・R5.12.22:「低所得者支援及び定額減税を補足する給付」(予備費)を閣議決定</li> <li>・R6.6~ :定額減税措置の開始</li> <li>・R6.9~11:定額減税補足給付金(当初調整給付)の支給</li> <li>・R6.12.17:国の令和6年度補正予算が成立</li> </ul>		44,541	44,541				0
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	令和6年分所得税の確定により算定した本来給付すべき額が当初調整給付額を上回り、給付額に不足があることが判明した場合等に給付金を支給するもの。		—	国	地方創生臨時交付金			44,541
			(参考)前々年度決算額					
事業概要	<p><b>■定額減税補足給付金(不足額給付) 44,541千円</b></p> <p>○給付金 40,000千円</p> <p><b>【支給対象者】</b></p> <p>①令和6年度に給付した調整給付額と、令和6年分所得税の確定により再算定した調整給付額との間で差額が生じた者 [対象者(見込)1,300人]</p> <p>②本人及び扶養親族等として定額減税対象外であり、かつ低所得世帯向け給付の対象世帯の世帯主・世帯員にも該当しなかった者 [対象者(見込)200人]</p> <p><b>【給付額】</b></p> <p>①本来給付べき調整給付額と当初調整給付額の差額 給付額(令和7年) = 不足額給付時調整給付額 - 当初調整給付額(令和6年)</p> <p>②原則4万円(定額)</p> <p><b>【支給時期】</b></p> <p>令和7年9月(予定)から順次</p> <p>○事務費(委託料、人件費、消耗品費、郵送料ほか) 4,541千円</p>		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	—				
			施策分野	—				
			<b>【宮津市総合計画以外の計画】</b>					
			期待される効果等	物価高により厳しい状況にある市民を支援し、経済的負担を軽減する。				
								
			担当部署	市民環境部 税務・国保課 税務係			45-1612	<b>63</b>

事業名	地域の防災・減災力向上対策（防災活動事業）	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景・経緯	R2. 6月 宮津市地域防災計画（全部改定） 災害時職員対応マニュアル改正		13,756	2,520	750		100	10,386		
	R3. 4月 宮津市業務継続計画策定 R4. 3月 宮津市災害時受援計画策定									
	R6. 1.1 能登半島地震 宮津市柳縄手 地点震度3（津波注意報発表） R6. 10月 マイ・タイムライン作成パンフレット作成 R7. 3月 災害時職員初動対応マニュアル（地震編）の策定		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
目的・目標	能登半島地震を踏まえ、地震災害時の対策として「新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）」を活用し、避難所避難者の良好な生活環境を向上するとともに、危機管理体制の強化を図り、防災関係機関と地域住民の防災力向上の取組を推進する。		6,995	国	新しい地方経済・生活環境創生交付金			2,520		
		(参考)前々年度決算額		府	きょうと地域連携交付金			750		
				諸	消防団員等公務災害補償費給付金			100		
事業概要	<b>【地震対策の強化】</b> <b>■地震災害時対応マニュアルの整備 200千円</b>  <b>■避難所（避難生活所）の計画的な環境整備 6,500千円</b> ○避難所の見直しと備蓄品の整備 ・簡易テント ・パーティション ・段ボールベッド ・簡易トイレ ・スポットクーラー    <b>■総合的な防災訓練の実施</b> ○地震及び水害の複合災害を想定した防災関係機関及び地域住民が一体となった総合的な訓練を実施し、防災関係機関の実践力向上・連携強化及び市民の防災意識の高揚を図る。  <b>■その他防災活動に係る経費 7,056千円</b> ○防災メール、自主防災組織支援ほか	総計重要プロジェクト	—							
		テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり							
		施策分野	社会基盤・防災減災							
		<b>【宮津市総合計画以外の計画】</b>								
		R2	宮津市地域防災計画							
		R3	宮津市業務継続計画							
		R3	宮津市災害時受援計画							
		R6	災害時職員初動対応マニュアル(地震編)							
		期待される効果等	安全・安心で快適にくらせるまちづくりの推進 ・マニュアル整備により、大規模地震発生時の職員災害対応業務の適切で迅速な行動 ・避難所プライバシー保護等による良好な生活環境の確保 ・総合的な防災訓練の実施による防災関係機関と地域住民の防災力向上  							
		担当部署	総務部 消防防災課 消防防災係			45-1605		64		



事業名	大規模自然災害発生の危機に対する備え (住宅耐震化促進事業)	充実	予算額	財 源 内 訳																						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																		
背景・経緯	H16～ 宮津市木造住宅耐震診断士派遣事業 H21～ 宮津市木造住宅耐震改修費等助成事業 H28～ 宮津市木造住宅耐震改修費等助成事業に簡易耐震改修を新設 R6・R7 京都府木造住宅耐震改修等事業費補助金(耐震改修)の時的限的拡充 R7～ 国土交通省「住宅・建築物耐震改修事業」補助限度額の拡充		16,050	6,480	4,720			4,850																		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																						
目的・目標	大地震に備え、木造住宅の耐震化を強力に推進する。 (令和6年、7年の2ヶ年の拡充時限措置)		15,450	国	社会資本整備総合交付金		6,480																			
			(参考)前々年度決算額	府	木造住宅耐震化促進事業費補助金		4,720																			
事業概要	<p>■木造住宅の耐震診断、耐震改修に対する支援 16,050千円</p> <p>&lt;耐震診断&gt; 対象住宅 昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅 内 容 京都府木造住宅耐震診断士による耐震診断 診断費用 無料 ※市が全額負担(5万5千円/件) 件 数 40件</p> <p>&lt;耐震改修費補助金(耐震改修、簡易耐震改修)&gt; 対象住宅 昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅 耐震診断により、評点が1.0未満の住宅</p> <p>○【拡充】耐震改修 内 容 耐震改修後の評点が1.0以上となる改修 補 助 金 上限190万円/件(補助率10/10) 補助件数 6件</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">R5</td> <td colspan="4">補助金(限度額) 120万円 ※補助率4/5</td> </tr> <tr> <td>国2/5 60万円</td> <td>府1/5 30万円</td> <td>市1/5 30万円</td> <td>個人1/5 30万円</td> </tr> </table> <p>↓</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">R6拡充</td> <td colspan="3">補助金(限度額) 180万円 ※補助率10/10</td> </tr> <tr> <td>国 60万円</td> <td>府 60万円</td> <td>市 60万円</td> </tr> </table> <p>↓</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">R7拡充</td> <td colspan="3">補助金(限度額) 190万円 ※補助率10/10</td> </tr> <tr> <td>国 70万円</td> <td>府 60万円</td> <td>市 60万円</td> </tr> </table> <p>○簡易耐震改修 内 容 簡易な方法(屋根の軽量化、壁の補強など)で耐震性を向上 補助金 上限40万円/件(補助率4/5)、補助件数 6件</p>	R5	補助金(限度額) 120万円 ※補助率4/5				国2/5 60万円	府1/5 30万円	市1/5 30万円	個人1/5 30万円	R6拡充	補助金(限度額) 180万円 ※補助率10/10			国 60万円	府 60万円	市 60万円	R7拡充	補助金(限度額) 190万円 ※補助率10/10			国 70万円	府 60万円	市 60万円	総計重要プロジェクト	—
			R5	補助金(限度額) 120万円 ※補助率4/5																						
国2/5 60万円	府1/5 30万円	市1/5 30万円		個人1/5 30万円																						
R6拡充	補助金(限度額) 180万円 ※補助率10/10																									
	国 60万円	府 60万円	市 60万円																							
R7拡充	補助金(限度額) 190万円 ※補助率10/10																									
	国 70万円	府 60万円	市 60万円																							
テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり																									
施策分野	社会基盤・防災減災																									
【宮津市総合計画以外の計画】																										
	H28	宮津市建築物耐震改修促進計画					H28～R7																			
期待される効果等	<p>安全・安心で快適に暮らせるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被害を最小限に防ぎ、市民の生命・財産・暮らしが守られる。</li> <li>建物の倒壊による道路閉塞を防止し、避難や救急、消火活動等に迅速に取り組める。</li> </ul>																									
担当部署	建設部 都市住宅課 建築住宅係			45-1631		65																				

事業名	文化財保護・活用推進事業	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景・経緯	・H19 天橋立の世界遺産登録に向けて推進運動を開始 ・H26・27 「宮津天橋立の文化的景観(府中・文珠)」が国重要文化的景観に選定 ・H27 「成相寺旧境内」が国史跡に指定 ・R5.12 「宮津市文化財保存活用地域計画」の文化庁認定	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">                         債務負担行為の設定 5,000千円                     </div>	15,185	9,047	250			5,888		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			6,976	国	国宝重要文化財等保存整備費補助金	8,547	国	新しい地方経済・生活環境創生交付金	500	
目的・目標	『宮津市文化財保存活用地域計画』(R6~R15)に基づき、重要文化財旧三上家住宅の活用などの「重点プロジェクト」を中心に関連事業を実施し、本市の豊かな歴史文化資源の保全活用を図り、持続可能なまちづくりにつなげる。		(参考)前々年度決算額	府	子どもの教育のための総合交付金	250				
			3,030							
			総計重要プロジェクト	—						
事業概要	<p>■「宮津市文化財保存活用地域計画」に基づく文化財の保存と活用</p> <p>◆基本方針に基づく関連事業の実施</p> <p>○市内文化財の調査・指定・保全事業 435千円 文化財保護審議会の開催 など</p> <p>○「天橋義塾開校150周年記念事業」の実施 1,000千円【新規】 歴史資料館特別資料館特別展示「天橋義塾と近代宮津の歩み」・多言語化解説コンテンツ、デジタルマップを活用したスタンプラリー</p> <p>○「子ども学芸員養成講座」の実施 500千円 子どもみずから地域の歴史文化に触れ、調べ、伝える社会教育プログラム</p> <p>○旧三上家住宅の耐震保存修理・公開活用改修に向けた準備 13,150千円 【文化庁補助事業】 (R7~R8:債務負担行為の設定 5,000千円) 令和10年度からの耐震保存修理・公開活用改修に向けて、老朽化した建物の保存修理に向けた耐震診断調査や重要文化財(建造物)保存活用計画を策定&lt;想定スケジュール&gt; R6~R7:耐震診断 (R6:5,940千円、R7:8,020千円) R7~R8:建造物保存活用計画の策定 (R7:5,130千円、R8:5,000千円) R9:実施設計 R10~R12:耐震保存修理・公開活用改修</p> <p>◆文化財の保存・活用の推進体制の構築</p> <p>○宮津市文化財保存活用計画推進協議会の開催 100千円 事業の情報共有や事業の企画調整・進捗確認等</p>	 <p>(重要文化財旧三上家住宅)</p>	テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり						
			施策分野	文化財保存・活用						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R3	宮津市教育振興計画			R3~R7			
			R5	宮津市文化財保存活用地域計画			R6~R15			
			期待される効果等	①歴史文化遺産、自然遺産の保全継承 ②文化資源を活用した地域経済の活性化 ③市民の郷土理解促進、誇りとアイデンティティの創出 ④地域コミュニティの維持と新たなまちづくり ⑤歴史文化を生かした地域ブランディング ※「重要文化財(建造物)保存活用計画」策定のメリット ・整備活用工事にあたり文化庁との調整がスムーズになる ・策定以降、国(文化庁)の公開活用事業補助の採択が見込まれる						
担当部署	教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係			45-1642		67・224				


事業名	有害鳥獣対策事業	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25. 11～：ニホンジカ狩猟に対して奨励金を支給するシカ捕獲強化事業の開始</li> <li>・H26. 4～：猪・鹿成獣(20kg以上)の解体(搬入)・埋設処分を猟友会に委託</li> <li>・H26. 7～：鳥獣被害対策実施隊によるニホンザルパトロール(追払い・捕獲)を開始</li> <li>・R 2. 4～：宮津市有害鳥獣処理施設稼働、処理業務を猟友会に委託</li> <li>・R 5. 10～：有害捕獲個体(一般廃棄物)の一部市外処分を開始</li> <li>・R 6. 4～：有害鳥獣処理業務を直営化</li> </ul>		37,462		15,305			22,157
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			37,076	府	緑の公共事業補助金		12,285	
				府	きょうと地域連携交付金		2,640	
			(参考)前々年度決算額	府	事務委任交付金		380	
			31,517					
目 的 標	恒常的に発生している野生鳥獣被害に対応するため、駆除業務を委託するとともに、捕獲個体を処分する処理施設を適正管理し、有害鳥獣駆除活動を安定的に実施することで、鳥獣による農業被害、生活環境被害の軽減を図る。		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
事 業 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■有害鳥獣駆除業務 14,230千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○捕獲見込 イノシシ・ニホンジカ1,180頭(うちジビエ活用ニホンジカ250頭)等</li> </ul> </li> <li>■有害鳥獣処理施設・冷凍庫の運用管理 12,993千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○賃金、需用費、委託料(廃水処理・臭気水質検査・施設警備)など</li> </ul> </li> <li>■有害捕獲個体の市外事業者への処分委託 5,280千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○有害鳥獣処理施設の処理量を上回る捕獲個体を市外事業者により処分</li> </ul> </li> <li>■ジビエ残渣処理機導入支援 525千円【新規】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○上世屋獣肉店運営推進協議会による小規模焼却施設の導入を支援</li> </ul> </li> <li>■シカ捕獲強化事業 2,000千円【充実】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○狩猟期におけるシカ捕獲に対し1頭4千円(上限20頭/人)の報奨金を支給</li> </ul> </li> <li>■鳥獣被害対策実施隊活動 2,106千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ニホンザル捕獲・追払い、ツキノワグマ捕獲等の対応、巻き狩り(年2回)</li> </ul> </li> <li>■担い手の育成確保 245千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○猟銃(初めて所有する散弾銃)の購入を支援</li> <li>○狩猟免許取得等を補助(講習受講料1/2、受験手数料全額)</li> </ul> </li> <li>■防護柵の設置支援(市単独分)ほか 83千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵 1地区138m72千円</li> </ul> </li> </ul>		施策分野	農林水産業振興				
				【宮津市総合計画以外の計画】				
			R4	宮津市鳥獣被害防止計画	R5～R7			
		期待される効果等	農地を荒らす有害鳥獣の対策を行うことで、農作物生産体制の安定化につながり、農業振興の維持・発展が期待できる。					
								
		担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係		45-1626	90		

〔処理予定量〕

	市処理施設	市外処理	処理量合計
R7予定	約 15 t (投入150回)	約 12 t	約 27 t
R6見込	約 14.0 t (投入134回)	約 15.1 t	約 29.1 t (R5繰越2t含む)

〔参考〕  
宮津市野生鳥獣被害対策運営協議会による対策

- ・防護柵 9地区(16.5km、34,749千円)
- ・捕獲檻 8基

事業名	みやづ城東タウンリノベーション事業 (定住促進住宅整備事業)	充実	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ S63～H18:関西電力(宮津エネルギー研究所)社宅</li> <li>・ H19.4:関西電力(株)から建物(定住促進住宅用家屋)を寄付受納</li> <li>・ H19.4:関西電力(株)と一般定期借地権設定契約を締結(借地権50年間～R39.3末)</li> <li>・ H19.5:市営住宅(52戸規模)として入居開始</li> <li>・ R04～:リノベーション事業の実施(R4/12戸、R5/6戸、R6/3戸)</li> <li>・ R05～:事業者への社宅貸付(4階空き住戸の活用/11戸)</li> </ul>		35,616		8,500	24,300	2,816	0		
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
			13,886	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金		8,500			
			(参考)前々年度決算額	市債	過疎対策事業債		24,300			
目 的 目 標	みやづ城東タウンのリノベーションにより、移住・定住促進を目的とした住環境や子育て環境を整えることで、「若者が住みやすい、選ばれるまちづくり」を推進する。		27,004	使手	市営住宅使用料		2,816			
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
事 業 要 概	<p>■リノベーションによる若者定住促進 33,116千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○戸数 6戸</li> <li>○内容 間取り変更(3DK→1LDK)、設備更新等</li> <li>○入居条件 40歳未満の方(单身者も入居可能)</li> <li>○家賃 5万円/月</li> <li>※駐車区画1台込み、屋外倉庫付き</li> <li>○入居時期 令和7年12月予定</li> </ul>  <p>■事業者への社宅貸付の推進 2,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○戸数 1戸</li> <li>○内容 内装の補修(床、壁、天井の劣化部の塗装・張替、畳表替え等)電気温水器・IH器具などの設備更新</li> <li>○募集条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象 民間事業者、公共団体、公共的団体</li> <li>・使用用途 従業員向け住宅(1年以上の居住を見込む者)</li> <li>・使用料 戸当たり年額504,000円(月額42,000円)</li> </ul> </li> </ul>		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
			施策分野	移住・定住促進						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R元	宮津市公営住宅等長寿命化計画					R元～R10	
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リノベーションによる住環境の充実と移住・定住の促進</li> <li>・子育て環境の充実</li> <li>・入居率の向上による増収</li> </ul> 						
			担当部署	建設部 都市住宅課 建築住宅係					45-1631	114

事業名	シティプロモーションの推進に向けて (関係人口・魅力・移住創出事業、広報活動事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	R元 組織再編でシティプロ担当部署の明確化 R02 ホームページリニューアル、デジタルコンテンツの作成・公開 R04 宮津市シティプロモーション戦略策定 R05 関係人口創出に向けた情報発信の強化 委託型地おこ (FB社) 公式LINEセグメント運用の開始 R06 市民共創型フォトコンテスト開催 ふるさと市民制度公式LINEセグメント「MIYAZUTTO！」運用開始 市民共創型ポスターワークショップ開催		13,125		1,818		1,028	10,279
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			10,433	府	子育てにやさしいまちづくり推進交付金		818	
			(参考)前年度決算額	府	きょうと地域連携交付金		1,000	
			4,353	諸	広報紙みやづ掲載料相当額		30	
			諸	印刷物等有料広告料		800		
			諸	広告付き案内地図に係る提案広告料		198		
目 的 目 標	移住定住や関係人口創出に向けた「新しい人の流れの創出」を進めるため、宮津市の地域ブランディングやシティプロモーションを強化し、選ばれるまちづくりにつながるもの。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
事 業 概 要	<p>■市民共創型シティプロモーション事業の展開 1,300千円</p> <p>市民と協働するシティプロモーションを進めることで、本市の魅力発掘やコンテンツ作り、郷土愛の醸成を図るとともに、市民主体の「暮らしの魅力発信」を推進する。</p> <p>○市民共創型「地域ブランディング」ワークショップの開催 市民参加型のワークショップによる市のブランドイメージづくり</p> <p>○市民共創型「フォトコンテスト」の実施 宮津の暮らしをテーマにしたフォトコンテストの実施、市民による地域の魅力発信</p> <p>○市民ライターを活用・キッズ広報誌の発行 より親しみやすく身近な情報発信を行うため、市民ライターによる記事の掲載、子ども達の取材・制作によるキッズ広報誌の発行</p> <p>■わかりやすい戦略的な広報の実施 11,825千円</p> <p>庁内に広報戦略会議を設置し、主要施策について戦略的な広報発信を行うとともに、動画による発信や外部メディアの活用など「伝わる広報」に向けた情報発信力を強化する。</p> <p>○広報みやづ等の充実 ・主要施策の戦略的な広報発信を担う広報戦略会議の設置、職員研修の実施 ・広報誌のカラー化、外部委託化、コンテンツの充実等 ・動画発信の強化</p> <p>○発信チャンネルの充実 ・外部メディアの活用 ・LINEセグメント配信等SNSの活用</p> <p>○広報やシティプロモーションに係る効果測定手法の研究 ・指標の検討に向け先行事例研究に着手</p>		施策分野	シティプロモーション				
				【宮津市総合計画以外の計画】				
			R4	宮津市シティプロモーション戦略			R4~R7	
			期待される効果等	<p>・関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化</p> <p>・都市部への情報発信強化等による移住者の呼び込み</p> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <p>・地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元 44人 → R7 延べ300人</p> <p>・市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数 R元 - → R7 30万PV</p> <p>・転出超過数の減少 R元 △63人/年 → R7 0人/年</p>				
			担当部署	企画財政部 移住定住・魅力発信課 魅力発信係	45-1609	117・118		

## 市民と協働した情報発信

### 充 市民共創によるブランドイメージづくり【1,100千円】

- 市民参加型のワークショップ等による「宮津のブランドイメージづくり」や「フォトコンテスト」等の取組みにより、市民と共創した魅力発信を推進



### 新 市民共創による情報発信の仕組みづくり【200千円】

- 身近な暮らしの話題を記事にする「市民ライター」を養成し、広報誌やSNS等で地域の魅力を発信



- 子ども目線で地域の魅力を発信する「キッズ広報誌」を発行し、新たな視点での情報発信やシビックプライドの醸成につなげる



## わかりやすい戦略的な広報の実施

### 充 市の情報発信力の強化【11,725千円】

- 市の広報発信力を強化するため、広報みやづ等のコンテンツの充実や戦略的な広報発信を行うための体制強化等を実施



- 発信チャンネルを充実するため、外部メディア・サイト等の積極的な活用を実施
- 戦略的に広報を実施していくため、庁内に「広報戦略を検討するための体制「広報戦略会議（仮称）」を構築し、主要施策等の戦略的な広報発信につなげる

### 新 広報の効果測定に向けた研究【100千円】

- シティプロモーションの効果を可視化し、効果的な広報につなげるため、広報の効果測定に向けた先行事例研究等に着手



#### 【他市の事例】





- 幸福度等に着目した事例



- 地域の推奨度や参画量等に着目した事例



事業名	海岸保全施設整備事業	継続	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	栗田半島東側に位置する海岸については、背後地は人家が密集しており、離岸堤が設置されていない箇所において、波浪時には非常に危険な状態のため計画的に海岸保全施設の整備を実施 ・H30 栗田漁港海岸地区 脇 着手 ・R2 " 小寺 着手 ・R4 " 小田宿野 着手		130,000	65,000	21,666	43,300		34
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			80,000	国府	海岸保全施設整備事業費補助金	65,000	府	海岸保全施設整備事業費補助金
目的・目標	離岸堤の設置により波浪等から海岸を防護し、背後住民の生命・財産の保全を図る。		(参考)前々年度決算額	市債	過疎対策事業債		43,300	
			82,485					
			総計重要プロジェクト	—				
事業概要	<b>■海岸保全施設整備事業 130,000千円</b> ・事業地区 栗田漁港海岸地区 ・事業内容 離岸堤（消波方塊ブロックの製作・設置） 小田宿野 1号基（R6に着手）の上部工を除き概成 2号基の一部に着手 ・事業費 工事費 130,000千円		テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
	<b>◇全体計画（H29～R8予定）</b> ・事業内容 離岸堤 ①脇 3基[165m] R2完成 ②小寺 1基[70m] R3完成 ③小田宿野 3基/1号基60m+2号基60m+3号基110m ・事業費 工事費 818,000千円 離岸堤（H30～R8予定） 測定費 30,000千円 測量及び設計等業務委託（H29） 計 848,000千円		施策分野	社会基盤・防災減災				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			・背後住民の生命・財産の保全					
			期待される効果等					
		担当部署	産業経済部 農林水産課		産業基盤係		45-1627	126

事業名	道路新設改良事業	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	社会資本整備総合交付金等を活用し、生活に密着した道路を計画的に点検・整備する。 ・H25：道路ストック点検実施 ・H30：トンネル定期点検実施（1回目） ・R元～R4：橋梁定期点検実施（2巡目） ・R元.6：未就学児集団移動経路の緊急点検実施 ・R3.10：宮津市通学路等安全推進協議会による通学路の緊急点検及び対策検討会議を実施 ・R6～R9：橋梁定期点検（3巡目）に着手		95,775	40,040		54,500		1,235
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			153,071	国	道路整備事業費補助金			40,040
			(参考)前々年度決算額	市債	辺地対策事業債			15,600
			市債	過疎対策事業債			29,900	
			市債	道路整備事業債			9,000	
目 的 目 標	道路・橋りょう等の老朽化が進む中、道路ストック点検、橋梁長寿命化修繕計画及び通学路交通安全プログラムに基づき、施設の計画的な整備・修繕や長寿命化を図り、安全で安心して暮らせる快適な生活環境の向上を図る。		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
事 業 概 要	<b>■通学路安全対策</b> 40,000千円 ・中橋惣線 32,000千円 歩道整備 ・馬場先京口線 8,000千円 測量設計業務		施策分野	社会基盤・防災減災				
	<b>■橋梁長寿命化対策</b> 30,000千円 ・宮川上橋ほか15橋 20,000千円 断面補修 ・橋梁定期点検(40橋) 10,000千円 法定点検		【宮津市総合計画以外の計画】					
			H24	宮津市橋梁長寿命化修繕計画		H24～		
			H26	宮津市通学路等交通安全プログラム		H26～		
			安全・安心・快適に過ごし続けられる暮らしの基盤の向上 ○児童・生徒の安全な通学環境の確保 ○道路利用者の安全確保					
			[第7次宮津市総合計画目標数値目標] ○橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕実施率 R2末:7.1% ⇒ R7:31%					
			 					
<b>■法面等対策</b> 24,000千円 ・小田辛皮線 15,000千円 法面对策 ・浦館線 9,000千円 測量設計業務		期待される効果等						
 		担当部署	建設部 土木管理課 土木係		45-1629		127	
<b>■事務費等</b> 1,775千円								






事業名	総合的な治水対策の推進 (河川整備事業、都市下水路整備事業、都市下水路管理事業 排水機場整備事業)	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 頻繁に発生する浸水被害 (床上・床下浸水) H16 台風23号・H29 台風18号 台風21号 ・H30 7月豪雨 台風24号</li> <li>・ R元.12 宮津市国土強靱化地域計画策定</li> <li>・ 市街地等の内水対策 浸水被害箇所の調査及び対策</li> <li>・ R5 浸水対策に向けた流量調査 (城東・辻町地区) を実施</li> </ul>		98,700			88,800		9,900
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			135,600	市債	河川整備事業債		43,800	
			(参考)前々年度決算額	市債	都市下水路整備事業債		32,000	
			77,167					
目 的 標	地域住民が安全・安心に生活できるよう、宮津市国土強靱化地域計画に基づき、浸水被害の軽減を図る。	総計重要プロジェクト	—					
		テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
事 業 要 概	<p>■河川整備事業 43,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 滝馬川河川整備事業 32,800千円 (既設護岸の補強工事)</li> <li>・ 辻川測量設計業務 11,000千円 (流量調査結果に基づく詳細設計)</li> </ul>  <p>■都市下水路整備事業 23,400千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 由良下水路整備に伴う用地取得、建物調査等</li> <li>・ 須津地区浸水対策 (地域振興策)</li> </ul> <p>■都市下水路管理事業 16,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市下水路の浚渫 (横町下水路)</li> <li>・ 都市下水路の改修 (新宮下水路、国名賀下水路)</li> </ul> <p>■排水機場整備事業 15,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大口径ポンプ機関の点検</li> <li>・ 除塵槽浚渫</li> </ul>	施策分野	社会基盤・防災減災					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		R元	宮津市国土強靱化地域計画策定				R元～	
		期待される効果等	浸水被害の軽減と、地域住民の安全・安心の確保 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・災害による死亡者数 R2:0人⇒R7:0人/5年 ・緊急性の高い河川の整備 R2:0河川⇒R7:1河川					
		担当部署	建設部土木管理課 土木係			45-1629	131・ 132・133	

事業名	公共交通空白地有償運送支援事業	充実	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H30.10：丹後海陸交通(株)から、運転手不足のため枝線6路線からの運行撤退の申し入れ以後、路線再編に向けて協議開始</li> <li>・ R 2. 4：上宮津線、養老線、日ヶ谷線廃止 新たに地域主体の「交通空白地有償運送」による運行開始</li> <li>・ R 2.10：島陰新宮由良線廃止。由良地区では新たに地域主体による運行開始 栗田地区では、200円タクシーの取り組みがスタート、田井線を観光需要に対応した路線へ再編</li> <li>・ R 4. 3：京都府北部地域連携都市圏公共交通計画及び宮津市地域公共交通計画策定</li> <li>・ R 6.10：田井線廃止、栗田地区では新たに地域主体による運行開始</li> </ul>		10,113		5,000		5,000	113		
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
			7,201	府	きょうと地域連携交付金			5,000		
			(参考)前々年度決算額	線入	過疎地域自立促進特別事業基金線入金			5,000		
			6,957							
目 的 目 標	市内を走る路線バス枝線の再編が令和6年10月に完了した中、路線バスに代わる地域の移動手段を確保するため、地域主体の運送サービスである「交通空白地有償運送」の運営支援及び栗田地区200円タクシーを実施することにより、市民の利便性向上を図る。		総計重要プロジェクト	—						
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり						
事 業 概 要	<p><b>■交通空白地有償運送の運営支援</b>                      交通空白地有償運送の運行主体である4協議会(市内7地区)の運営を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通空白地有償運送支援補助金 7,464千円                          交通空白地有償運送の運行に係る経費を支援                          対 象 者：上宮津有償運送運営協議会(上宮津地区)                          橋北移送サービス運営協議会(養老・日ヶ谷・世屋・日置地区)                          由良有償運送運営協議会(由良地区)                          栗田有償運送運営協議会(栗田地区)                          補 助 額：運行経費(一部基準あり)から運賃収入を差引いた額                          対象経費：ボランティア研修受講経費、アルコールチェッカー等備品購入費、運行管理責任者や運転手等への謝金、貸与車両の任意保険料等</li> <li>・ 車両貸与 633千円                          4協議会の交通空白地有償運送事業に用いる車両の貸与(各協議会1台)</li> <li>・ 公共交通空白地有償運送運営団体支援交付金 300千円                          交通空白地有償運送運営団体への立ち上げ支援のため、3年目まで交付金を支給                          対 象 者：栗田有償運送運営協議会(栗田地区)</li> </ul> <p><b>■栗田地区200円タクシー実施業務委託料等 1,716千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栗田地区内を200円でタクシー利用し、交通結節点である京都丹後鉄道「栗田駅」及び栗田地区交通空白地有償運送「獅子バス停」に接続するもの</li> </ul>		施策分野	公共交通						
			<b>【宮津市総合計画以外の計画】</b>							
			R3	京都府北部地域連携都市圏公共交通計画	R4~R8					
			R3	宮津市地域公共交通計画	R4~R8					
			R5	京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画	R5~R16					
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定的で持続可能な公共交通の確立</li> <li>・ シームレスな(継ぎ目のない)移動しやすい交通体系の構築</li> </ul> <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通利用者数                              R元:192.0万人 ⇒ R7:168.2万人</li> </ul>						
担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		45-1664		156					



事業名	KTR支援事業	継続	予算額	財 源 内 訳																																			
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																															
背景・経緯	・R6.1: 京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画策定(計画期間: R5年度~R16年度) 北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画を継承し、京都丹後鉄道を基軸とした地域公共交通の活性化を図るもの。 ・R6.12: 北近畿タンゴ鉄道の鉄道事業再構築実施計画認定(計画期間: R7年度~R16年度) ・R7.4: 北近畿タンゴ鉄道の鉄道事業再構築実施計画に基づき、引き続き、北近畿タンゴ鉄道(株)が鉄道施設を保有し維持管理を行い、ウィラートレイنز(株)が京都丹後鉄道の運行を行う上下分離方式による運営を実施		309,734	99,125		210,400		209																															
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																																			
			238,927	国	地域公共交通再構築事業費補助金	99,125	市債	過疎対策事業債	210,400																														
目的・目標	新たに認定された北近畿タンゴ鉄道の鉄道事業再構築実施計画及び令和5年度策定の京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画に基づき、老朽化が進む鉄道基盤を保有する北近畿タンゴ鉄道(株)が行う鉄道施設及び車両の整備・更新等について、沿線自治体が協調して支援することで、安心・安全な運行と持続可能性の確保や快適性・利便性の向上を図る。		(参考)前々年度決算額																																				
			154,357																																				
事業概要	<b>①地域公共交通再構築事業費補助金 198,250千円</b> R5年度に新設された地域公共交通再構築事業費補助金(社会資本整備総合交付金)(補助率1/2)を活用し、電路・線路・駅ホーム設備等の整備、新車両設計等に対して沿線自治体で協調支援するもの		総計重要プロジェクト	—																																			
	<b>②鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金 26,964千円</b> 車両検査及び運賃箱更新にかかる経費(社会資本整備総合交付金対象外)について、沿線自治体で協調支援するもの		テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり																																			
			施策分野	公共交通																																			
	<b>③北近畿タンゴ鉄道支援費基盤管理補助金 84,464千円</b> 北近畿タンゴ鉄道の鉄道基盤維持費用を沿線自治体で協調支援するもの		【宮津市総合計画以外の計画】																																				
			R3	京都府北部地域連携都市圏公共交通計画				R4~R8																															
			R3	宮津市地域公共交通計画				R4~R8																															
			R5	京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画				R5~R16																															
	<b>④北近畿タンゴ鉄道生活交通改善事業計画に関する協議会負担金 56千円</b> 京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画の評価等にかかる協議会等の開催に係る負担金		R6	北近畿タンゴ鉄道の鉄道事業再構築実施計画				R7~R16																															
			期待される効果等	・京都丹後鉄道を基軸とした地域公共交通の活性化 [第7次宮津市総合計画 分野別数値目標] ・京都丹後鉄道利用者数 R元:1,580千人 ⇒ R6:1,460千人																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>総事業費</th> <th>うち宮津市負担分</th> <th>国庫支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①</td> <td>R7当初予算</td> <td>1,456,360</td> <td>198,250</td> <td>99,125</td> <td>99,100</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>(参考) R6当初予算 +R5.3補正</td> <td>1,291,020</td> <td>185,534</td> <td>92,765</td> <td>92,700</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②~④</td> <td>R7当初予算</td> <td>1,051,791</td> <td>111,484</td> <td></td> <td>111,300</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>(参考) R6当初予算</td> <td>1,122,192</td> <td>110,442</td> <td></td> <td>110,300</td> <td>142</td> </tr> </tbody> </table>				総事業費	うち宮津市負担分	国庫支出金	市債	一般財源	①	R7当初予算	1,456,360	198,250	99,125	99,100	25	(参考) R6当初予算 +R5.3補正	1,291,020	185,534	92,765	92,700	69	②~④	R7当初予算	1,051,791	111,484		111,300	184	(参考) R6当初予算	1,122,192	110,442		110,300	142	担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		45-1664
		総事業費	うち宮津市負担分	国庫支出金	市債	一般財源																																	
①	R7当初予算	1,456,360	198,250	99,125	99,100	25																																	
	(参考) R6当初予算 +R5.3補正	1,291,020	185,534	92,765	92,700	69																																	
②~④	R7当初予算	1,051,791	111,484		111,300	184																																	
	(参考) R6当初予算	1,122,192	110,442		110,300	142																																	



事業名	医療MaaS等の推進 (地域医療推進事業)	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3. 3:宮津市地域医療のあり方検討委員会を設置</li> <li>・R4. 2:上記委員会から以下の内容を含む提言を受領                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実効性のある包括ケアシステムの構築、健康寿命延伸施策の推進</li> <li>・オンライン診療など新たな医療提供の検討 など</li> </ul> </li> <li>・R4. 8:宮津市持続可能な地域医療推進協議会を設置                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療MaaS、健康づくり研究事業に関することを協議</li> </ul> </li> <li>・R4. 11:医療MaaS実証事業を実施 (～R5. 2)</li> <li>・R5. 12:医療MaaS事業を実施 (～R6. 3)</li> <li>・R7. 3:医療MaaS車両購入予定</li> </ul>		8,400	4,200			4,200	0	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			8,900	国 繰入	新しい地方経済・生活環境創成交付金 まちづくり基金繰入金	4,200	4,200		
			(参考)前々年度決算額						
			6,644						
目的・目標	将来にわたり安心して医療を受けられる環境の維持及び、安心して妊娠・出産できる環境づくりを推進するため、デジタル技術を活用したオンライン診療や妊産婦健診を実施し、持続可能な地域づくりを目指す。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
			テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり					
事業概要	<p><b>■医療MaaS推進事業 8,400千円</b></p> <p><b>◆車両を活用したオンライン診療・健診の更なる推進</b></p> <p>○事業概要 通信機器や医療機器を搭載した車両が患者宅を訪問し、看護師がサポートしながら、車内でオンラインにより診療等を受けられるもの。 ※これまでレンタル車両により期間限定で実施していたが、令和6年度に車両購入し、通年事業として本格的に実施するもの</p> <p>○実施回数 週1～2日(月8日)程度の実施を想定</p> <p>○対象者</p> <p>①慢性期疾患の方:オンライン診療</p> <p>②妊婦・産婦の方:オンライン健診【新規】 北部医療センター産婦人科と協働し健診を実証 ・妊婦健診:モバイルエコー等を活用した妊婦健診 ・産婦健診:産後二週間健診</p>  <p><b>◆健康・医療連携会議の開催[新規]</b> 医療MaaSの推進のほか、健康寿命の延伸、保健事業の推進について、地域の医師等との連携を強化するもの。年2回程度開催</p>  <p><b>◆行政MaaS研究継続</b> 保健指導/行政相談/移動投票所等</p>		施策分野	健康・医療					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R6	第10次宮津市高齢者保健福祉計画・第9期宮津市介護保険事業計画			R6～R8		
			期待される効果等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機会の確保</li> <li>・健康寿命の延伸</li> <li>・持続可能な地域づくり</li> <li>・子どもを安心して妊娠し、出産できる環境づくり</li> </ul> 			
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係 総務部 総務課 情報推進係		45-1624 45-1602	190					



事業名	中学校部活動改革推進事業	新規	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<国(スポーツ庁)の動き> ・H30.3:持続可能な部活動に向けたガイドラインの策定 ・R2.9:学校の働き方改革を踏まえ、R5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行を推進 ・R4.6:R5~R7年度を改革推進期間とし、実証事業を開始 ・R4.12:学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインの策定 <京都府の動き> ・R3.7:京都府地域部活動推進検討委員会設置。スポーツ庁の「地域部活動推進事業」を活用し、「休日の部活動の段階的な地域移行」について、実践研究を事業化 ・R6.3:京都府学校部活動及び地域クラブ活動推進指針を策定 <宮津市の動き> ・R4.8~:部活動の地域移行に向けて検討開始、外部団体等との懇談、アンケート調査 ・R6~:部活動検討委員会の設置、教員、保護者への周知、地域部活動実証事業の開始		2,550		2,142			408
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			—	府	地域部活動推進事業委託金			2,142
			(参考)前々年度決算額					
目的・目標	急速に進行する少子化の影響により、所属人数の減少や希望種目の限定など中学校部活動を取り巻く環境が変容する中、持続可能で適切な中学校部活動の在り方を検討、協議するため、部活動検討委員会を設置し、休日における部活動の地域展開の実証を行う。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり				
事業概要	<b>■中学校部活動地域展開に向けた実証事業 2,550千円【新規】</b> ○事業概要 ・部活動検討委員会の設置及び運営 ・平日の学校部活動以外の休日(土・日)において、陸上(宮津中)、ソフトテニス(栗田中)及びフリースポーツ(宮津中・栗田中)の競技について、市内スポーツ関係団体(スポーツ協会、地域学校協働本部、総合型スポーツクラブ)と連携して実証事業を行う。 ・令和7年度から、新たにバレーボール(宮津中)を実施 ○対象経費:外部団体の活動支援経費(指導謝礼、スポーツ保険加入)など ○事業費 ・部活動検討委員会経費 185千円(委員報酬等) ・陸上(宮津中) 732千円(指導者謝金、保険料等) ・ソフトテニス(栗田中) 819千円(指導者謝金、保険料等) ・フリースポーツ(宮津・栗田中) 31千円(会場使用料等) ・バレーボール(宮津中) 783千円(指導者謝金、保険料等)		施策分野	学校教育				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R2	宮津市教育大綱・教育振興基本計画			R3~R7	
			期待される効果等					
			・子ども達が多様な活動を体験できる機会の提供 ・将来にわたり、子ども達が活動を継続できる持続可能な仕組みの構築や環境の整備 ・教職員の働き方改革の推進 ・地域力の向上(地域人材との連携、協働を通して)					
担当部署	教育委員会 学校教育課 学校教育係		45-1641	214				




令和7年3月定例会


令和7年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	スポーツ×観光(交流)のまちづくり (ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業・スポーツ振興事業・天橋立健康ウォーク 開催補助事業)	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H20.3:宮津市スポーツ振興計画策定</li> <li>・H30.12:第2期宮津市スポーツ推進計画策定</li> <li>・R4:(株)にしがきから企業版ふるさと納税による寄附(ジュニアスポーツ育成)を受け、宮津市ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業補助金制度を創設</li> <li>・R4.3:第3期宮津市スポーツ推進計画策定</li> </ul>		8,141	775	1,530		2,025	3,811
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	<p>「豊かな心と体が育まれるスポーツのまち」の実現を目指し、第3期宮津市スポーツ推進計画に掲げる「ライフステージに応じたスポーツの推進」「多様なスポーツを支える環境の充実」「まちに夢と元気を与える競技スポーツの推進」「スポーツ交流によるまちの元気づくりの推進」の4つの基本目標に基づきスポーツ施策を推進する。</p>		10,689	国	新しい地方経済・生活環境創生交付金			775
			(参考)前々年度決算額	府	きょうと地域連携交付金			1,530
概要	<p>■ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業 1,550千円 ジュニアスポーツの育成・組織強化を図ることにより、まちの活力を生み出すとともにスポーツ観光を推進する。</p> <p>○ジュニアスポーツ育成のための団体支援 ジュニアスポーツ育成のために積極的に活動に取り組む団体の活動を支援。</p> <p>○京都サンガF.C.ホームタウン活動 京都サンガF.C.との連携により、子どもの頃からプロアスリートと触れ合う機会を創出し、競技力の向上をはじめ、まちの元気づくりにつなげる。 (宮津市ホームタウンデーの実施ほか)</p> <p>■スポーツ推進事業 5,261千円 「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」を推進するため、各種スポーツ施策に取り組む。</p> <p>○ライフステージに応じたスポーツの推進【充実】 市民スポーツデー、各種スポーツ教室等の実施ほか</p> <p>○多様なスポーツを支える環境の充実 スポーツ情報の発信、中学校部活動の地域展開に向けた取組への連携・協力ほか</p> <p>○まちに夢と元気を与える競技スポーツの振興 スポーツ協会への支援、全国大会等出場の激励ほか</p> <p>○スポーツ交流によるまちの元気づくりの推進 全国的・広域的なスポーツ大会の開催支援ほか</p> <p>■天橋立健康ウォーク開催補助事業 1,330千円 健康づくりのシンボルイベント「天橋立ツーデーウォーク」の開催を支援する。</p>		7,611	繰入	まち・ひと・しごと創生基金繰入金			700
			総計重要プロジェクト	—				
概要			テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり				
			施策分野	文化・スポーツ振興				
概要			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R2	宮津市教育大綱・教育振興基本計画			R3~R7	
概要			R4	第3期宮津市スポーツ推進計画			R5~R9	
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通じた健康づくりの推進</li> <li>・スポーツ観光の推進とスポーツ交流人口の増加</li> <li>・ジュニアスポーツの育成</li> <li>・スポーツ実施率の向上</li> <li>・競技力の向上</li> </ul> <p>【第7次宮津市総合計画目標数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人の週1回以上のスポーツ実施率 H29:32.3% → R7:50.0%(R9)</li> </ul>				
概要			  					
			担当部署	企画財政部 企画課 文化スポーツ振興係 健康福祉部 健康・介護課 健康増進係 教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係			45-1718 45-1624 45-1641	218・ 219・220



事業名	宮津市宿泊税検討委員会の設置 (税務事務事業)	新規	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R3～R12 :第7次宮津市総合計画</li> <li>・ R3～R12 :宮津市第2期行財政運営指針</li> <li>・ R7.2.3 :天橋立観光協会及び宮津天橋立観光旅館協同組合から宿泊税導入に係る要望書を受理</li> </ul>		1,561		780			781		
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
			—	府	きょうと地域連携交付金		780			
目 的 目 標	宮津市第2期行財政運営指針に基づき、税制の見直しを検討するため、外部委員による「宮津市宿泊税検討委員会」を設置し、宿泊税導入の可否等について具体的検討を進めることにより、行財政運営の健全化を図る。		(参考)前々年度決算額							
			—							
			総計重要プロジェクト	—						
事 業 要 概	<p>■「宮津市宿泊税検討委員会」の設置・運営等 1,561千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委員の構成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10人程度 (学識経験者、各種団体の長等で構成予定)</li> </ul> </li> <li>○検討内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮津市の持続可能な観光地づくりに向けて、宿泊税の必要性を議論し、宿泊税導入の可否などについて検討を行う。</li> </ul> </li> <li>○スケジュール                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年内に5回程度の会議を開催し、報告書を市へ提出する予定</li> </ul> </li> </ul>		テーマ別戦略	—						
			施策分野	—						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R3	宮津市第2期行財政運営指針	R3～R12					
期 待 される 効果等	宮津市第2期行財政運営指針の収支計画に基づく財源不足の解消(増収対策:期間内目標 3億円)									
										
担当部署	市民環境部 企画財政部 産業経済部	税務・国保課 財政課 商工観光課	税務係 予算係 観光係	45-1612 45-1610 45-1625	243					

会計名等	土地建物造成事業特別会計			設置目的	宅地造成・公共用地等の造成事業の円滑な事業実施を行う									
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>			歳 入	令和7年度	令和6年度	増 減	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>			歳 出	令和7年度	令和6年度	増 減
	歳 入	令和7年度	令和6年度	増 減										
	歳 出	令和7年度	令和6年度	増 減										
	1 事業収入 (土地売却収入)	9,230	9,230	0	1 総務費	1	1	0						
	2 財産収入	2	2	0	2 事業費	530	527	3						
					3 公債費	500	500	0						
				4 予備費	8,201	8,204	△ 3							
合 計	9,232	9,232	0	合 計	9,232	9,232	0							
予算概要 (予算の特徴)	<p>■ 令和7年度の販売促進に向けた基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 販売促進の強化 「子育て世帯へのつつじが丘団地新築支援」のPR (フリーペーパー等への掲載、工務店等への営業活動など) を進めるとともに、「移住コンシェルジュ」による案内を強化し、販売促進を展開</li> <li>○ 情報発信の強化 「つつじが丘での暮らし」の発信や住宅情報サイトへの掲載継続、二地域居住などのターゲットを変えたプロモーション等の実施</li> </ul>													
備考 (特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 販売価格の引き下げ 令和元年度 (平成31年度) に不動産鑑定評価額に合わせて変更 (1区画当たり平均39千円/㎡ ⇒ 22千円/㎡)</li> <li>○ 補助制度の創設 令和5年度に子育て世帯向けの新築支援制度を設置 (市保有地を購入し、新築した場合、最大200万円支援)</li> <li>○ つつじが丘団地造成事業における残区画数 : 32区画 (R6年12月時点) ※販売実績 : R6年度 1区画、R5年度 0区画、R4年度 0区画、R3年度 1区画、R2年度 0区画、R1年度 4区画</li> </ul>													
担当部署	企画財政部 移住定住・魅力発信課 移住定住促進係				TEL	45-1689	特 1							






会計名等	国民健康保険事業特別会計			設置目的	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、被保険者に必要な保険給付、保健事業を行う。																																																													
予 算	歳 入			令和7年度	令和6年度	増 減	歳 出			令和7年度	令和6年度	増 減																																																						
	1 国民健康保険税			349,555	353,355	△ 3,800	1 総務費			44,823	36,363	8,460																																																						
	2 使用料及び手数料			170	170	0	2 保険給付費			1,589,421	1,475,284	114,137																																																						
	3 国庫支出金			8,273	2,708	5,565	(項)療養諸費			1,369,889	1,280,894	88,995																																																						
	4 府支出金			1,632,297	1,509,760	122,537	3 国民健康保険事業費納付金			515,271	514,523	748																																																						
	(節)普通交付金			1,576,526	1,462,306	114,220	4 保健事業費			50,950	52,308	△ 1,358																																																						
	(節)特別交付金			55,771	47,454	8,317	5 基金積立金			133	13	120																																																						
	5 財産収入			133	13	120	6 公債費			100	100	0																																																						
	6 繰入金			206,312	211,535	△ 5,223	7 諸支出金			3,095	3,004	91																																																						
	(目)一般会計繰入金			182,834	192,074	△ 9,240	8 予備費			500	500	0																																																						
	(目)基金繰入金			23,478	19,461	4,017																																																												
	7 繰越金			3,000	1	2,999																																																												
	8 諸収入			4,553	4,553	0																																																												
	合 計			2,204,293	2,082,095	122,198	合 計			2,204,293	2,082,095	122,198																																																						
予算概要 (予算の特徴)	<p>■京都府全体の医療費の増嵩に伴い、京都府により示された標準保険税率が増加したことから、国民健康保険事業基金の一部を繰り入れ、保険税額の急激な増額抑制を図るとともに、適切な国保事業の運営を図る。</p> <p>○歳入においては、被保険者数の減少及び基金繰入れにより、国民健康保険税は1.1%減、保険給付費の増により府支出金は8.1%増。</p> <p>○歳出においては、被保険者数は減少しているものの、1人当たりの医療費は増加傾向にあり、保険給付費は7.7%増。</p> <p>○人間ドック補助について、適正な費用負担と補助金交付制度の維持の観点から、令和7年度は補助率を7割に見直し。(R6:8割 ⇒ R7:7割)</p> <p>○第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画(計画期間:R6年度～R11年度)に基づき、特定健診及び特定保健指導などの保健事業を推進。</p>																																																																	
備 考 (特記事項)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29決算</th> <th>H30決算</th> <th>R元決算</th> <th>R2決算</th> <th>R3決算</th> <th>R4決算</th> <th>R5決算</th> <th>R6当初</th> <th colspan="2">R7当初</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人当たり保険税(円)</td> <td>93,650</td> <td>75,634</td> <td>85,721</td> <td>86,193</td> <td>81,011</td> <td>89,137</td> <td>87,146</td> <td>96,258</td> <td>102,136</td> <td>(+6.1%)</td> </tr> <tr> <td>1人当たり医療費(円)</td> <td>396,777</td> <td>402,027</td> <td>385,051</td> <td>378,529</td> <td>387,926</td> <td>400,389</td> <td>425,082</td> <td>463,375</td> <td>530,081</td> <td>(+14.4%)</td> </tr> <tr> <td>被保険者数(平均)(人)</td> <td>5,075</td> <td>4,922</td> <td>4,745</td> <td>4,607</td> <td>4,530</td> <td>4,343</td> <td>4,053</td> <td>3,695</td> <td>3,450</td> <td>(△6.6%)</td> </tr> <tr> <td>国保事業基金残高(千円)※R6.R7は見込</td> <td>118,181</td> <td>158,194</td> <td>164,194</td> <td>177,194</td> <td>173,196</td> <td>171,198</td> <td>152,199</td> <td>132,751</td> <td>109,406</td> <td>(△23,345)</td> </tr> </tbody> </table>											H29決算	H30決算	R元決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6当初	R7当初		1人当たり保険税(円)	93,650	75,634	85,721	86,193	81,011	89,137	87,146	96,258	102,136	(+6.1%)	1人当たり医療費(円)	396,777	402,027	385,051	378,529	387,926	400,389	425,082	463,375	530,081	(+14.4%)	被保険者数(平均)(人)	5,075	4,922	4,745	4,607	4,530	4,343	4,053	3,695	3,450	(△6.6%)	国保事業基金残高(千円)※R6.R7は見込	118,181	158,194	164,194	177,194	173,196	171,198	152,199	132,751	109,406	(△23,345)	 
	H29決算	H30決算	R元決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6当初	R7当初																																																									
1人当たり保険税(円)	93,650	75,634	85,721	86,193	81,011	89,137	87,146	96,258	102,136	(+6.1%)																																																								
1人当たり医療費(円)	396,777	402,027	385,051	378,529	387,926	400,389	425,082	463,375	530,081	(+14.4%)																																																								
被保険者数(平均)(人)	5,075	4,922	4,745	4,607	4,530	4,343	4,053	3,695	3,450	(△6.6%)																																																								
国保事業基金残高(千円)※R6.R7は見込	118,181	158,194	164,194	177,194	173,196	171,198	152,199	132,751	109,406	(△23,345)																																																								
担当部署	市民環境部 税務・国保課 国保年金係							TEL	45-1616	特 2																																																								

令和7年3月定例会

令和7年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

<p>会計名等</p>	<p>後期高齢者医療特別会計</p>			<p>設置目的</p>	<p>原則75歳以上の高齢者に対して、保険給付等「生活を支える医療」を提供するため、京都府後期高齢者医療広域連合と本市が事務を分担しながら、後期高齢者医療制度の安定的な運営を図る。</p>																																																														
<p>予 算</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 保険料</td> <td>324,687</td> <td>313,601</td> <td>11,086</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 国庫補助金</td> <td>1,215</td> <td>0</td> <td>1,215</td> </tr> <tr> <td>4 繰入金</td> <td>116,162</td> <td>112,789</td> <td>3,373</td> </tr> <tr> <td>5 繰越金</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>6 諸収入</td> <td>654</td> <td>632</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>443,228</td> <td>427,532</td> <td>15,696</td> </tr> </tbody> </table>			歳 入	令和7年度	令和6年度	増 減	1 保険料	324,687	313,601	11,086	2 使用料及び手数料	10	10	0	3 国庫補助金	1,215	0	1,215	4 繰入金	116,162	112,789	3,373	5 繰越金	500	500	0	6 諸収入	654	632	22	合 計	443,228	427,532	15,696	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 総務費</td> <td>4,192</td> <td>3,453</td> <td>739</td> </tr> <tr> <td>2 後期高齢者医療広域連合納付金</td> <td>434,441</td> <td>419,539</td> <td>14,902</td> </tr> <tr> <td>3 保健事業費</td> <td>3,585</td> <td>3,530</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>4 諸支出金</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5 予備費</td> <td>510</td> <td>510</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>443,228</td> <td>427,532</td> <td>15,696</td> </tr> </tbody> </table>				歳 出	令和7年度	令和6年度	増 減	1 総務費	4,192	3,453	739	2 後期高齢者医療広域連合納付金	434,441	419,539	14,902	3 保健事業費	3,585	3,530	55	4 諸支出金	500	500	0	5 予備費	510	510	0	合 計	443,228	427,532	15,696
歳 入	令和7年度	令和6年度	増 減																																																																
1 保険料	324,687	313,601	11,086																																																																
2 使用料及び手数料	10	10	0																																																																
3 国庫補助金	1,215	0	1,215																																																																
4 繰入金	116,162	112,789	3,373																																																																
5 繰越金	500	500	0																																																																
6 諸収入	654	632	22																																																																
合 計	443,228	427,532	15,696																																																																
歳 出	令和7年度	令和6年度	増 減																																																																
1 総務費	4,192	3,453	739																																																																
2 後期高齢者医療広域連合納付金	434,441	419,539	14,902																																																																
3 保健事業費	3,585	3,530	55																																																																
4 諸支出金	500	500	0																																																																
5 予備費	510	510	0																																																																
合 計	443,228	427,532	15,696																																																																
<p>予算概要 (予算の特徴)</p>	<p>■京都府後期高齢者医療広域連合が賦課する保険料の徴収及び保健事業の実施など適切な運営を図る。                  ○歳入においては、被保険者数等の増加により保険料は3.5%の増。(保険料率はR6と同率)                  ○歳出においては、被保険者数の増加に伴う保険料等負担金(徴収した保険料)と保険基盤安定負担金(低所得者等の保険料軽減に係る負担金)の増加により、後期高齢者医療広域連合納付金は3.6%増。                  ○人間ドック補助について、団塊の世代の加入により対象者が増加していることから、補助制度の維持に向け令和7年度は補助率を6割に見直し。(R6:7割 ⇒ R7:6割)</p>																																																																		
<p>備 考 (特記事項)</p>				<p>R 5 決算</p>	<p>R 6 当初</p>	<p>R 7 当初</p>																																																													
	<p>宮津市の平均被保険者数</p>			<p>4,222人</p>	<p>4,299人(+1.8%)</p>	<p>4,336人(+0.9%)</p>																																																													
	<p>現年度保険料総額</p>			<p>283,014千円</p>	<p>312,970千円</p>	<p>324,396千円</p>																																																													
	<p>1人当たりの保険料</p>			<p>67,033円</p>	<p>72,801円</p>	<p>74,815円</p>																																																													
	<p>[参考:府全体被保険者数]</p>			<p>409,486人</p>	<p>426,897人(+4.3%)</p>	<p>440,130人(+3.1%)</p>																																																													
	<p>府全体の1人当たり保険料(隔年改定)</p>			<p>86,484円</p>	<p>93,158円</p>																																																														
<p>担当部署</p>	<p>市民環境部 税務・国保課 国保年金係</p>					<p>TEL</p>	<p>45-1616</p>	<p>特3</p>																																																											

会計名等	介護保険事業特別会計			設置目的	介護保険事業の運営を行う。																											
予 算	歳 入			歳 出																												
	1 保険料	479,848	475,230	4,618	1 総務費	84,761	68,869	15,892																								
	2 使用料及び手数料	20	21	△ 1	2 保険給付費	2,609,586	2,621,994	△ 12,408																								
	3 国庫支出金	729,872	741,776	△ 11,904	(項)介護サービス等諸費	2,378,211	2,389,660	△ 11,449																								
	4 支払基金交付金	731,967	737,706	△ 5,739	(項)介護予防サービス等諸費	76,289	76,473	△ 184																								
	5 府支出金	421,328	422,235	△ 907	3 地域支援事業費	176,303	181,302	△ 4,999																								
	6 財産収入	313	33	280	(項)介護予防・生活支援サービス事業費	100,117	108,870	△ 8,753																								
	7 繰入金	520,049	507,180	12,869	(項)一般介護予防事業費	1,024	1,098	△ 74																								
	(項)一般会計繰入金	465,049	452,180	12,869	(項)包括的支援事業・任意事業費	74,897	71,048	3,849																								
	(項)基金繰入金	55,000	55,000	0	4 基金積立金	313	33	280																								
	8 繰越金	1	1	0	5 公債費	100	100	0																								
	9 諸収入	6	6	0	6 諸支出金	2,103	1,403	700																								
					7 予備費	10,238	10,487	△ 249																								
	合 計	2,883,404	2,884,188	△ 784	合 計	2,883,404	2,884,188	△ 784																								
予算概要 (予算の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険料 第9期(令和6年度～令和8年度)基準月額6,147円 前期比7.9%減、保険料軽減(対象:所得区分第1～3段階まで)継続実施。</li> <li>・保険給付費 居宅介護サービス給付費の減等により、対前年度比0.5%減。</li> <li>・地域支援事業費 介護予防・生活支援サービス事業費の減等により、対前年度比2.8%減。</li> <li>・総務費 総務管理費、介護認定審査会費における人件費、報酬の増等、対前年度比23.1%増。</li> </ul>																															
備考 (特記事項)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">第1号被保険者数</td> <td style="width: 20%;">要介護等認定者数(1号)</td> <td style="width: 15%;">要介護認定率</td> <td style="width: 15%;">総合事業対象者</td> <td style="width: 20%;">高齢化率</td> </tr> <tr> <td>R6.12月末</td> <td>7,012人</td> <td>1,855人(要支援661人、要介護1,194人)</td> <td>26.5%</td> <td>13人</td> <td>44.2%</td> </tr> <tr> <td>R5.12月末</td> <td>7,089人</td> <td>1,824人(要支援635人、要介護1,189人)</td> <td>25.7%</td> <td>13人</td> <td>43.8%</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△77人(△1.1%)</td> <td>+31人(+1.7%)</td> <td>+0.8%</td> <td>±0人</td> <td>+0.4%</td> </tr> </table>		第1号被保険者数	要介護等認定者数(1号)	要介護認定率	総合事業対象者	高齢化率	R6.12月末	7,012人	1,855人(要支援661人、要介護1,194人)	26.5%	13人	44.2%	R5.12月末	7,089人	1,824人(要支援635人、要介護1,189人)	25.7%	13人	43.8%	増減	△77人(△1.1%)	+31人(+1.7%)	+0.8%	±0人	+0.4%	<p>【地域支援事業】介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型・通所型サービス、一般介護予防事業など)の実施                  地域包括ケアシステム(在宅医療・介護連携の推進、生活支援体制の整備など)の推進                  認知症施策(認知症初期集中支援チームによる支援、認知症カフェの運営など)の推進                  成年後見支援センターの運営</p> <div style="display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center; gap: 10px;">   </div>						
	第1号被保険者数	要介護等認定者数(1号)	要介護認定率	総合事業対象者	高齢化率																											
R6.12月末	7,012人	1,855人(要支援661人、要介護1,194人)	26.5%	13人	44.2%																											
R5.12月末	7,089人	1,824人(要支援635人、要介護1,189人)	25.7%	13人	43.8%																											
増減	△77人(△1.1%)	+31人(+1.7%)	+0.8%	±0人	+0.4%																											
担当部署	健康福祉部 健康介護課 介護給付係・介護認定係・介護予防係					TEL	45-1619	特 4																								

令和7年3月定例会

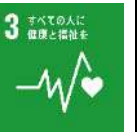
令和7年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	介護予防支援事業特別会計			設置目的	要支援1、2の認定を受けた者に対するケアプランの作成等を行う。							
予 算	歳 入			令和7年度	令和6年度	増 減	歳 出			令和7年度	令和6年度	増 減
	1	サービス収入	12,168	10,723	1,445	1	総務費	2,062	1,942	120		
	2	繰越金	1	1	0	2	事業費(介護予防支援事業費)	9,978	8,202	1,776		
	3	諸収入	1	1	0	3	予備費	130	581	△ 451		
					0					0		
					0					0		
					0					0		
					0					0		
					0					0		
					0					0		
		合 計		12,170	10,725	1,445	合 計	12,170	10,725	1,445		
予算概要 (予算の特徴)	介護予防サービス利用者やそのケアプラン作成数は増加を見込んでおり、介護予防サービス計画費収入も増額を見込む。											
備考 (特記事項)	〔介護予防ケアプラン作成数(年間)〕					〔参考：令和6年12月末現在〕						
	区分	R7見込	R6見込	R5実績	R4実績	対象月	要支援認定者数	要介護認定者数	市人口	65歳以上人口	高齢化率	
	南部圏域 (宮津市包括支援センター)	2,707件	2,578件	2,449件	2,406件	R6.12末	661人	1,194人	15,966人	7,064人	44.24%	
	北部圏域 (宮津北部地域包括支援センター)	1,014件	999件	984件	796件	R5.12末	635人	1,189人	16,325人	7,156人	43.8%	
	計	3,721件	3,577件	3,433件	3,202件							
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 介護予防係							TEL	45-1620	特5		



会計名等	休日応急診療所事業特別会計			設置目的	休日応急診療所事業の運営を行う。																																																																													
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 診療収入</td> <td>9,876</td> <td>8,518</td> <td>1,358</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料(証明手数料)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 繰入金</td> <td>5,299</td> <td>5,130</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>4 繰越金</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5 諸収入(2町分担金)</td> <td>7,549</td> <td>7,319</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>23,425</td> <td>21,668</td> <td>1,757</td> </tr> </tbody> </table>			歳 入	令和7年度	令和6年度	増 減	1 診療収入	9,876	8,518	1,358	2 使用料及び手数料(証明手数料)	1	1	0	3 繰入金	5,299	5,130	169	4 繰越金	700	700	0	5 諸収入(2町分担金)	7,549	7,319	230	合 計	23,425	21,668	1,757	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 休日応急診療所費</td> <td>20,386</td> <td>18,629</td> <td>1,757</td> </tr> <tr> <td>    管理医師報酬等</td> <td>1,595</td> <td>1,567</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>    休日応急診療所管理運営事業</td> <td>1,616</td> <td>1,539</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>    出務医師報酬</td> <td>7,397</td> <td>7,064</td> <td>333</td> </tr> <tr> <td>    休日応急診療所診療事業</td> <td>9,778</td> <td>8,459</td> <td>1,319</td> </tr> <tr> <td>2 公債費</td> <td>2,539</td> <td>2,539</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    市債償還元金</td> <td>2,474</td> <td>2,392</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>    市債利子</td> <td>64</td> <td>146</td> <td>△ 82</td> </tr> <tr> <td>    一時借入金</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>23,425</td> <td>21,668</td> <td>1,757</td> </tr> </tbody> </table>			歳 出	令和7年度	令和6年度	増 減	1 休日応急診療所費	20,386	18,629	1,757	管理医師報酬等	1,595	1,567	28	休日応急診療所管理運営事業	1,616	1,539	77	出務医師報酬	7,397	7,064	333	休日応急診療所診療事業	9,778	8,459	1,319	2 公債費	2,539	2,539	0	市債償還元金	2,474	2,392	82	市債利子	64	146	△ 82	一時借入金	1	1	0	3 予備費	500	500	0	合 計	23,425	21,668	1,757
	歳 入	令和7年度	令和6年度	増 減																																																																														
	1 診療収入	9,876	8,518	1,358																																																																														
	2 使用料及び手数料(証明手数料)	1	1	0																																																																														
	3 繰入金	5,299	5,130	169																																																																														
	4 繰越金	700	700	0																																																																														
	5 諸収入(2町分担金)	7,549	7,319	230																																																																														
	合 計	23,425	21,668	1,757																																																																														
	歳 出	令和7年度	令和6年度	増 減																																																																														
	1 休日応急診療所費	20,386	18,629	1,757																																																																														
管理医師報酬等	1,595	1,567	28																																																																															
休日応急診療所管理運営事業	1,616	1,539	77																																																																															
出務医師報酬	7,397	7,064	333																																																																															
休日応急診療所診療事業	9,778	8,459	1,319																																																																															
2 公債費	2,539	2,539	0																																																																															
市債償還元金	2,474	2,392	82																																																																															
市債利子	64	146	△ 82																																																																															
一時借入金	1	1	0																																																																															
3 予備費	500	500	0																																																																															
合 計	23,425	21,668	1,757																																																																															
予算概要 (予算の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科目…内科、小児科</li> <li>・診療医師…一般社団法人与謝医師会に委託(17名の医師が輪番出務)</li> <li>・看護師…非常勤職員6名(2名ずつ出務)</li> <li>・医事事務…民間事業者に委託</li> <li>・診療日…日曜日、祝日、年末年始(年間72日) ※令和6年度72日</li> </ul>																																																																																	
備考 (特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成8年6月から診療開始。休日応急診療所整備に係る起債償還期間は平成37年度(令和7年度)まで。</li> <li>・休日応急診療所事業費分担金内訳 宮津市…5,299千円、伊根町…1,008千円、与謝野町…6,541千円</li> </ul>																																																																																	
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係				TEL	45-1624	特 6																																																																											



令和7年3月定例会

令和7年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	財産区特別会計			設置目的	各財産区の円滑な運営を図る。							
予 算	予 算 規 模			主 な 歳 入				主 な 歳 出				
	財 産 区	令和7年度	令和6年度	増 減	款名	令和7年度	令和6年度	増 減	款名	令和7年度	令和6年度	増 減
	上宮津財産区	4,938	6,011	△ 1,073	財産収入	3,719	3,592	127	総務費	4,294	5,720	△ 1,426
	由良財産区	292	292	0	財産収入	91	91	0	総務費	64	64	0
	栗田財産区	2,249	1,206	1,043	財産収入	248	205	43	総務費	1,322	279	1,043
	吉津財産区	5,020	2,607	2,413	財産収入	623	606	17	総務費	2,469	362	2,107
					諸収入	397	1	396	造林事業費	623	0	623
	世屋財産区	152	152	0	財産収入	81	81	0	総務費	88	88	0
	養老財産区	998	1,022	△ 24	財産収入	197	121	76	総務費	468	392	76
	日ヶ谷財産区	253	252	1	財産収入	52	51	1	総務費	57	56	1
		13,902	11,542	2,360			5,408	4,748	660	9,385	6,961	2,424
予算概要 (予算の特徴)	<p>&lt;吉津財産区&gt; 令和6年度12月補正予算で計上した再植林終了後の保育施業(直営林造林事業)の開始に伴う増</p>											
備 考 (特記事項)												
担当部署	産業経済部 農林水産課 産業基盤係								TEL	45-1627	特7	

会計名等	水道事業会計	設置目的	安全でおいしい水を供給する																																																																																			
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的収入(税込) A</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業収益</td> <td>583,843</td> <td>564,279</td> <td>19,564</td> </tr> <tr> <td>    給水収益</td> <td>582,303</td> <td>562,749</td> <td>19,554</td> </tr> <tr> <td>2 営業外収益</td> <td>170,338</td> <td>170,386</td> <td>△ 48</td> </tr> <tr> <td>    他会計補助金</td> <td>17,680</td> <td>20,063</td> <td>△ 2,383</td> </tr> <tr> <td>    国庫補助金</td> <td>4,290</td> <td>0</td> <td>4,290</td> </tr> <tr> <td>    長期前受金戻入</td> <td>67,934</td> <td>67,584</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>    資本費繰入収益</td> <td>59,291</td> <td>64,435</td> <td>△ 5,144</td> </tr> <tr> <td>3 特別利益</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>754,183</td> <td>734,667</td> <td>19,516</td> </tr> </tbody> </table>	収益的収入(税込) A	令和7年度	令和6年度	比較	1 営業収益	583,843	564,279	19,564	給水収益	582,303	562,749	19,554	2 営業外収益	170,338	170,386	△ 48	他会計補助金	17,680	20,063	△ 2,383	国庫補助金	4,290	0	4,290	長期前受金戻入	67,934	67,584	350	資本費繰入収益	59,291	64,435	△ 5,144	3 特別利益	2	2	0	合 計	754,183	734,667	19,516	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的支出(税込) B</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業費用</td> <td>670,660</td> <td>637,338</td> <td>33,322</td> </tr> <tr> <td>    原水及び浄水費</td> <td>202,570</td> <td>192,295</td> <td>10,275</td> </tr> <tr> <td>    配水及び給水費</td> <td>82,549</td> <td>61,530</td> <td>21,019</td> </tr> <tr> <td>    総係費</td> <td>89,947</td> <td>101,824</td> <td>△ 11,877</td> </tr> <tr> <td>2 営業外費用</td> <td>43,962</td> <td>45,053</td> <td>△ 1,091</td> </tr> <tr> <td>    支払利息</td> <td>42,807</td> <td>43,797</td> <td>△ 990</td> </tr> <tr> <td>3 特別損失</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4 予備費</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>720,624</td> <td>688,393</td> <td>32,231</td> </tr> </tbody> </table>	収益的支出(税込) B	令和7年度	令和6年度	比較	1 営業費用	670,660	637,338	33,322	原水及び浄水費	202,570	192,295	10,275	配水及び給水費	82,549	61,530	21,019	総係費	89,947	101,824	△ 11,877	2 営業外費用	43,962	45,053	△ 1,091	支払利息	42,807	43,797	△ 990	3 特別損失	2	2	0	4 予備費	6,000	6,000	0	合 計	720,624	688,393	32,231				
	収益的収入(税込) A	令和7年度	令和6年度	比較																																																																																		
	1 営業収益	583,843	564,279	19,564																																																																																		
	給水収益	582,303	562,749	19,554																																																																																		
	2 営業外収益	170,338	170,386	△ 48																																																																																		
	他会計補助金	17,680	20,063	△ 2,383																																																																																		
	国庫補助金	4,290	0	4,290																																																																																		
	長期前受金戻入	67,934	67,584	350																																																																																		
	資本費繰入収益	59,291	64,435	△ 5,144																																																																																		
	3 特別利益	2	2	0																																																																																		
	合 計	754,183	734,667	19,516																																																																																		
	収益的支出(税込) B	令和7年度	令和6年度	比較																																																																																		
	1 営業費用	670,660	637,338	33,322																																																																																		
	原水及び浄水費	202,570	192,295	10,275																																																																																		
配水及び給水費	82,549	61,530	21,019																																																																																			
総係費	89,947	101,824	△ 11,877																																																																																			
2 営業外費用	43,962	45,053	△ 1,091																																																																																			
支払利息	42,807	43,797	△ 990																																																																																			
3 特別損失	2	2	0																																																																																			
4 予備費	6,000	6,000	0																																																																																			
合 計	720,624	688,393	32,231																																																																																			
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的収入(税込) C</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 企業債</td> <td>376,000</td> <td>361,700</td> <td>14,300</td> </tr> <tr> <td>2 加入負担金</td> <td>3,300</td> <td>3,737</td> <td>△ 437</td> </tr> <tr> <td>3 出資金</td> <td>1,096</td> <td>1,099</td> <td>△ 3</td> </tr> <tr> <td>4 国庫補助金</td> <td>46,844</td> <td>65,109</td> <td>△ 18,265</td> </tr> <tr> <td>5 その他</td> <td>528</td> <td>9,300</td> <td>△ 8,772</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>427,768</td> <td>440,945</td> <td>△ 13,177</td> </tr> </tbody> </table>	資本的収入(税込) C	令和7年度	令和6年度	比較	1 企業債	376,000	361,700	14,300	2 加入負担金	3,300	3,737	△ 437	3 出資金	1,096	1,099	△ 3	4 国庫補助金	46,844	65,109	△ 18,265	5 その他	528	9,300	△ 8,772	合 計	427,768	440,945	△ 13,177	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的支出(税込) D</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 建設改良費</td> <td>457,564</td> <td>466,406</td> <td>△ 8,842</td> </tr> <tr> <td>    拡張改良費</td> <td>57,830</td> <td>258,216</td> <td>△ 200,386</td> </tr> <tr> <td>    浄水場整備費</td> <td>383,394</td> <td>189,860</td> <td>193,534</td> </tr> <tr> <td>2 企業債償還金</td> <td>228,698</td> <td>238,299</td> <td>△ 9,601</td> </tr> <tr> <td>3 その他・予備費</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>687,262</td> <td>705,705</td> <td>△ 18,443</td> </tr> </tbody> </table>	資本的支出(税込) D	令和7年度	令和6年度	比較	1 建設改良費	457,564	466,406	△ 8,842	拡張改良費	57,830	258,216	△ 200,386	浄水場整備費	383,394	189,860	193,534	2 企業債償還金	228,698	238,299	△ 9,601	3 その他・予備費	1,000	1,000	0	合 計	687,262	705,705	△ 18,443																									
資本的収入(税込) C	令和7年度	令和6年度	比較																																																																																			
1 企業債	376,000	361,700	14,300																																																																																			
2 加入負担金	3,300	3,737	△ 437																																																																																			
3 出資金	1,096	1,099	△ 3																																																																																			
4 国庫補助金	46,844	65,109	△ 18,265																																																																																			
5 その他	528	9,300	△ 8,772																																																																																			
合 計	427,768	440,945	△ 13,177																																																																																			
資本的支出(税込) D	令和7年度	令和6年度	比較																																																																																			
1 建設改良費	457,564	466,406	△ 8,842																																																																																			
拡張改良費	57,830	258,216	△ 200,386																																																																																			
浄水場整備費	383,394	189,860	193,534																																																																																			
2 企業債償還金	228,698	238,299	△ 9,601																																																																																			
3 その他・予備費	1,000	1,000	0																																																																																			
合 計	687,262	705,705	△ 18,443																																																																																			
				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益的収支差引 A-B</td> <td>33,559</td> <td>46,274</td> <td>△ 12,715</td> </tr> <tr> <td>資本的収支差引 C-D</td> <td>△ 259,494</td> <td>△ 264,760</td> <td>5,266</td> </tr> </tbody> </table>		令和7年度	令和6年度	比較	収益的収支差引 A-B	33,559	46,274	△ 12,715	資本的収支差引 C-D	△ 259,494	△ 264,760	5,266																																																																						
	令和7年度	令和6年度	比較																																																																																			
収益的収支差引 A-B	33,559	46,274	△ 12,715																																																																																			
資本的収支差引 C-D	△ 259,494	△ 264,760	5,266																																																																																			
予算概要	<p><b>【3条予算(収益的収支)】</b>                      収入:令和7年10月からの料金改定を見込み、水道使用料金は前年度比19,554千円の増となる582,303千円、総額で前年度比19,516千円の増となる754,183千円                      支出:PFAS(有機フッ素化合物)に係る水質検査やAIを活用した漏水調査の実施、維持管理費の増加等により、総額で前年度比32,231千円の増となる720,624千円                      収支差引額は33,559千円の黒字</p> <p><b>【4条予算(資本的収支)】</b>                      上宮津浄水場大規模改修やIoTを活用した遠隔監視・遠隔操作システム整備の継続、由良浄水場の水源確保に係る詳細設計業務委託等により、収支差引額は259,494千円の不足</p>																																																																																					
備 考	○上宮津浄水場大規模改修に係る債務負担行為の設定 450,000千円(期間:令和7年~令和9年の3年間)																																																																																					
担当部署	建設部 上下水道課 管理係	TEL	45-1635	特8																																																																																		



令和7年3月定例会

令和7年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	下水道事業会計	設置目的	公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る。																																																																																			
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的収入(税込) A</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業収益</td> <td>347,718</td> <td>347,001</td> <td>717</td> </tr> <tr> <td>    下水道使用料</td> <td>347,336</td> <td>346,573</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>2 営業外収益</td> <td>610,723</td> <td>615,195</td> <td>△ 4,472</td> </tr> <tr> <td>    他会計補助金</td> <td>409,205</td> <td>416,117</td> <td>△ 6,912</td> </tr> <tr> <td>    国庫補助金</td> <td>2,500</td> <td>2,500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    長期前受金戻入</td> <td>197,741</td> <td>195,190</td> <td>2,551</td> </tr> <tr> <td>    資本費繰入収益</td> <td>1,144</td> <td>1,245</td> <td>△ 101</td> </tr> <tr> <td>3 特別利益</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>958,443</td> <td>962,198</td> <td>△ 3,755</td> </tr> </tbody> </table>	収益的収入(税込) A	令和7年度	令和6年度	比較	1 営業収益	347,718	347,001	717	下水道使用料	347,336	346,573	763	2 営業外収益	610,723	615,195	△ 4,472	他会計補助金	409,205	416,117	△ 6,912	国庫補助金	2,500	2,500	0	長期前受金戻入	197,741	195,190	2,551	資本費繰入収益	1,144	1,245	△ 101	3 特別利益	2	2	0	合 計	958,443	962,198	△ 3,755	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的支出(税込) B</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業費用</td> <td>817,059</td> <td>812,324</td> <td>4,735</td> </tr> <tr> <td>    管渠費</td> <td>15,315</td> <td>14,832</td> <td>483</td> </tr> <tr> <td>    ポンプ場費</td> <td>19,609</td> <td>18,651</td> <td>958</td> </tr> <tr> <td>    流域下水道維持管理費</td> <td>301,759</td> <td>302,558</td> <td>△ 799</td> </tr> <tr> <td>    減価償却費</td> <td>446,470</td> <td>447,243</td> <td>△ 773</td> </tr> <tr> <td>2 営業外費用</td> <td>76,775</td> <td>84,741</td> <td>△ 7,966</td> </tr> <tr> <td>    支払利息</td> <td>70,705</td> <td>76,671</td> <td>△ 5,966</td> </tr> <tr> <td>3 特別損失・予備費</td> <td>6,002</td> <td>6,002</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>899,836</td> <td>903,067</td> <td>△ 3,231</td> </tr> </tbody> </table>	収益的支出(税込) B	令和7年度	令和6年度	比較	1 営業費用	817,059	812,324	4,735	管渠費	15,315	14,832	483	ポンプ場費	19,609	18,651	958	流域下水道維持管理費	301,759	302,558	△ 799	減価償却費	446,470	447,243	△ 773	2 営業外費用	76,775	84,741	△ 7,966	支払利息	70,705	76,671	△ 5,966	3 特別損失・予備費	6,002	6,002	0	合 計	899,836	903,067	△ 3,231				
	収益的収入(税込) A	令和7年度	令和6年度	比較																																																																																		
	1 営業収益	347,718	347,001	717																																																																																		
	下水道使用料	347,336	346,573	763																																																																																		
	2 営業外収益	610,723	615,195	△ 4,472																																																																																		
	他会計補助金	409,205	416,117	△ 6,912																																																																																		
	国庫補助金	2,500	2,500	0																																																																																		
	長期前受金戻入	197,741	195,190	2,551																																																																																		
	資本費繰入収益	1,144	1,245	△ 101																																																																																		
	3 特別利益	2	2	0																																																																																		
合 計	958,443	962,198	△ 3,755																																																																																			
収益的支出(税込) B	令和7年度	令和6年度	比較																																																																																			
1 営業費用	817,059	812,324	4,735																																																																																			
管渠費	15,315	14,832	483																																																																																			
ポンプ場費	19,609	18,651	958																																																																																			
流域下水道維持管理費	301,759	302,558	△ 799																																																																																			
減価償却費	446,470	447,243	△ 773																																																																																			
2 営業外費用	76,775	84,741	△ 7,966																																																																																			
支払利息	70,705	76,671	△ 5,966																																																																																			
3 特別損失・予備費	6,002	6,002	0																																																																																			
合 計	899,836	903,067	△ 3,231																																																																																			
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的収入(税込) C</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 企業債</td> <td>218,200</td> <td>246,300</td> <td>△ 28,100</td> </tr> <tr> <td>2 負担金</td> <td>7,285</td> <td>6,871</td> <td>414</td> </tr> <tr> <td>3 他会計補助金</td> <td>147,713</td> <td>142,381</td> <td>5,332</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>373,198</td> <td>395,552</td> <td>△ 22,354</td> </tr> </tbody> </table>	資本的収入(税込) C	令和7年度	令和6年度	比較	1 企業債	218,200	246,300	△ 28,100	2 負担金	7,285	6,871	414	3 他会計補助金	147,713	142,381	5,332	合 計	373,198	395,552	△ 22,354	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的支出(税込) D</th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 建設改良費</td> <td>79,785</td> <td>86,546</td> <td>△ 6,761</td> </tr> <tr> <td>    公共下水道費</td> <td>21,130</td> <td>34,697</td> <td>△ 13,567</td> </tr> <tr> <td>    流域下水道費</td> <td>58,655</td> <td>51,849</td> <td>6,806</td> </tr> <tr> <td>2 企業債償還金・他会計借入金償還金</td> <td>648,523</td> <td>659,137</td> <td>△ 10,614</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>729,308</td> <td>746,683</td> <td>△ 17,375</td> </tr> </tbody> </table>	資本的支出(税込) D	令和7年度	令和6年度	比較	1 建設改良費	79,785	86,546	△ 6,761	公共下水道費	21,130	34,697	△ 13,567	流域下水道費	58,655	51,849	6,806	2 企業債償還金・他会計借入金償還金	648,523	659,137	△ 10,614	3 予備費	1,000	1,000	0	合 計	729,308	746,683	△ 17,375																																				
	資本的収入(税込) C	令和7年度	令和6年度	比較																																																																																		
	1 企業債	218,200	246,300	△ 28,100																																																																																		
	2 負担金	7,285	6,871	414																																																																																		
	3 他会計補助金	147,713	142,381	5,332																																																																																		
	合 計	373,198	395,552	△ 22,354																																																																																		
	資本的支出(税込) D	令和7年度	令和6年度	比較																																																																																		
	1 建設改良費	79,785	86,546	△ 6,761																																																																																		
	公共下水道費	21,130	34,697	△ 13,567																																																																																		
	流域下水道費	58,655	51,849	6,806																																																																																		
2 企業債償還金・他会計借入金償還金	648,523	659,137	△ 10,614																																																																																			
3 予備費	1,000	1,000	0																																																																																			
合 計	729,308	746,683	△ 17,375																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益的収支差引 A-B</td> <td>58,607</td> <td>59,131</td> <td>△ 524</td> </tr> <tr> <td>資本的収支差引 C-D</td> <td>△ 356,110</td> <td>△ 351,131</td> <td>△ 4,979</td> </tr> </tbody> </table>					令和7年度	令和6年度	比較	収益的収支差引 A-B	58,607	59,131	△ 524	資本的収支差引 C-D	△ 356,110	△ 351,131	△ 4,979	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和7年度</th> <th>令和6年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本費平準化債(利子分)</td> <td>42,200</td> <td>41,500</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table>					令和7年度	令和6年度	比較	資本費平準化債(利子分)	42,200	41,500	700																																																											
	令和7年度	令和6年度	比較																																																																																			
収益的収支差引 A-B	58,607	59,131	△ 524																																																																																			
資本的収支差引 C-D	△ 356,110	△ 351,131	△ 4,979																																																																																			
	令和7年度	令和6年度	比較																																																																																			
資本費平準化債(利子分)	42,200	41,500	700																																																																																			
予算概要	<p>【3条予算(収益的収支)】            収入：下水道使用料は前年度比で763千円の増となる347,336千円、総額で前年度比3,755千円の減となる958,443千円            支出：流域下水道維持管理費や支払利息の減少等により、総額で前年度比3,231千円の減となる899,836千円            収支差引額は、58,607千円の黒字</p> <p>【4条予算(資本的収支)】            企業債償還金等により、収支差引額は356,110千円の不足</p>																																																																																					
備考																																																																																						
担当部署	建設部 上下水道課 管理係				TEL	45-1635	特9																																																																															